大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和十一年一月三十日 新京日日新聞 (木曜日) 第四千六百六十九號 (一)

新京日日新聞

夕刊 一月二十九日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用 三三二五 營業部專用 三三二〇
發行人 十河泰忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

英先帝の御大葬 盛大に執行さる
各國元首の御名代も御參列

【ロンドン廿八日發國通】悲しみの御靈柩は午前九時四十五分ウエストミンスターホールを御發引、殷々たる砲聲、嫋々たる教會の鐘の音、空も悲しみ冷雨模樣、沿道十重廿重の民衆は唯默々儀仗兵に續く各國軍隊代表の中我陸海軍を代表して參列した藤田、丸山兩大佐の姿が目立つた、御靈柩の直後には皇帝旗が進み皇帝エドワード八世は海軍大元帥服の御正裝で御靈柩に隨はれた、以下各國元首等が之に續き我 天皇陛下御名代として御差遣せられた駐佛大使佐藤尚武氏隨員の宮崎書記官松井官補、山澄、有末兩武官の憂ひの顔も見えた、行進はウインザー驛頭に午後一時八分御着直ちに午後の式場たるウインザー宮御着、總數二千餘の花輪を以て飾られたセントジョージ禮拜堂に移し奉り午後一時四十五分最後の御式に入る先帝御愛唱の讃美歌「主よ共に宿りませ」を合唱、カンタベリー大僧正は「エホバは我牧者なり」を讃讀、オルガンは葬送行進曲を奏で御式は終る、次で御靈柩はアルバートメモリアル禮拜堂に御埋葬申上げた、時に午後二時半

英大使外相訪問
御名代宮御差遣に御禮言上方を依頼

【東京國通】英國大使クライヴ氏は昨日午後五時半外務省に廣田外相を訪問し昨日芝アンドリウス教會に於て擧行された英國先帝弔祭式に兩陛下の御名代として高松宮、同妃兩殿下を御差遣あらせられた我皇室の御厚意に對し御禮言上方を依頼した

滿洲國の內陸稅關 愈よ五月より設置
先づ新京、奉天、哈爾濱の三都 保稅倉庫も實施せん

【京城國通】滿洲國財政部永井關稅科長、今里事務官は既報の如く大邱及び京城に於ける內陸稅關並に保稅倉庫制度を調査、去る廿六日歸滿したが右により朝鮮貿易協會の多年要望にかかる滿洲國內陸稅關は差當り奉天、新京、ハルビンの三ケ所に設置、來る五月より事務を開始する外近く保稅倉庫をも設置確實となつた、而して內陸稅關設置の曉は先づ

一、貨物輸送日數の著しき短縮從來東京城、奉天間所要日數普通一週間が四五日間となる
一、從來の如き中間檢査の爲途中積卸しによる荷痛み紛失が防止される
一、今後は到着地で受荷主立會の下に價株鑑定が行はれるので鑑定價格に關する紛糾がなくなる
一、荷受人が貨物を發荷に逆送する場合の如きも從來稅金の拂戻しを受けられなかつたが今後は納稅前なる爲之が不利を解消される

漁區借區料を物資で支拂ひ
成案出來次第交涉に新提案

【東京國通】北鐵協定に基く九千三百三十萬圓の物貨支拂はソ聯と日、滿兩國との最初の大量取引であり、日滿ソ三國通商に對する最初の門戶開放として注目され來つたが物資支拂の契約は圓滿に進捗し目下のところ契約不調の殘額も僅々百萬圓に達せず協定成立一周年を迎へ來る三月までには九千三百三十萬圓の全額契約を完了すべき確信を得たので外務省通商局が主となつて北鐵物資支拂により開拓された日滿ソ三國新通商公道を將來に亘つて確保するため目下愼重方策考究中である、歐亞局方面の意向によれば日滿ソ三國通商關係確定の一辦法としては北洋漁區借區料の全額を日本商品を以てソ聯に支拂ひ一は綿織物を求むるソ聯の要求に應じ他は物貨の流通の繼續により日ソ兩國通商關係の强化を圖りルーブル換算問題の煩瑣を避けんとするものであり、廣田外相は右に關する事務當局の成案を得次第目下開催中のモスクワに於ける漁業交涉に於て漁區借區料物資支拂の新提案を爲すに至るものと觀られるに至つた

未發行政府公債を 三月中に發行

【東京國通】昭和十年度の政府の公債發行豫定額は一般會計及び特別會計を通じて八億五千萬圓となつてをり、內現在迄に發行濟みのものは四億五千萬圓で四億圓が未發行となつてゐるが、大藏省では大體年度末の三月に一括して發行する豫定であり、その發行額も自然增收、歲出不用を合して一億圓に達することが明かとなつてゐるので發行豫定額から一億圓を減じた三億圓程度に止まるものと觀られてゐる

冀東政權破壞に 藍衣社暗躍

【奉天國通】中央藍衣社は冀東自治政府の强化に鑑みこの際その基礎を破壞せざれば將來如何ともなし難しといふに意見一致し中央より向、王君惠の兩名を北平に派遣し一月中旬唐山、灤州、楡樹各支部委員を北平に召集、破壞工作について協議した

濠毛買付 未曾有の活況

【東京國通】濠洲航路は最近頓に好調を呈し殊に我羊毛の買付は非常な旺盛振りで各國買付量の三十九パーセントを示し、ドイツの廿一パーセントを遙かに下位に置いてゐるが濠洲同盟調査による一月中の羊毛輸入高は總計九萬七千二百四十俵と前月の未曾有の記錄たる九萬一千九百廿八俵を更に突破するに至つた、二ケ月間打續いて此記錄を出したことは如何に我羊毛工業界が躍進しつゝあるかを物語るもので、二月中は內地寄港豫定船八隻に及ぶので結局十萬俵を突破するのではないかと見られてゐる

立候補者黨派別

【東京國通】廿八日午後十一時現在立候補者黨派別左の如し

黨派	人數
政友	二七六
民政	二三八
昭和	三六
國同	二六
社大	二五
地方無產	九
其他諸派	一七
中立	六三
計	六九〇

王寵惠氏 南京西南の合作に乘出すか

【廣東廿八日發國通】西南政府委員會發表によればヘーグ常設國際司法裁判所判事王寵惠氏は既に判事を辭任し二月七日ロンドン出發歸國の途に就く事となつた、歸途英佛米三國政府を訪問、極東外交に關し意見の交換を遂げ國民政府に對し重要建議を爲す筈である、王寵惠氏は曩に南京西南合作に重要役割を演じたが今次歸國の上は更に合作の具體的緊密化を圖るだらうと觀られてゐる

冀南赤色政府 河南省南部に成立
冀察政府積極對策に出てん

【天津廿八日發國通】河北省南部順德東方任縣、鉅鹿、廣宗を中心に最近冀南ソヴエット臨時政府が成立するに至り漸次河南、山西、山東省境に擴大赤化せんとしてゐる、これが赤化防衞に赴いた宋哲元軍の一營並に萬福麟軍の二營は消息を斷つに至り赤化したものと見られてゐる、該方面は黃河氾濫による避難民が蝟集してゐる關係上赤化の擴大は容易なるもの〻如く極めて重大視されるに至つた、尙英國もソ聯の北支赤化工作に對しては暗默の諒解を持つてゐるもの〻如く、天津英國租界に共產黨員養成を目的とするソ聯の中央政治學校が設立されるに至つた、冀察政務委員會では綏元の赤化に驚いてゐるが近く防共の實を擧げる可く積極的對策に出るものの如く

リ氏、磯谷武官訪問
双方自國方針を會談

【上海廿八日發國通】揚子江上流地方の視察を終へて廿六日飛行機で來滬せるリースロス氏は廿七日午後我が磯谷武官を訪問し約二時間に亘り會談を行つた、右會談に於てリースロス氏は支那に對する英國政府の財政的援助に關する方針につき種々說明して諒解を求めると共に支那幣制整理の將來に關する國民の見解をも併せて表明したと云はれる之に對し磯谷武官は日本の對支根本方針を素直に述べた模樣で會談は進んで日英兩國の一般的對支關係にも及んだ樣子である、なほ三十日の長崎丸で歸國の途につくが一方リースロス氏は近く南支旅行に出發し香港、廣東方面を視察の後愈々歸英する事となる筈である

有吉大使に 最高勳章を贈呈

【上海廿九日發國通】支那在任三ケ年餘、日支國交の最も困難な時期に處してこれが調整改善のため多大の功績を殘した有吉大使は愈々二月八日離滬歸國し有田新大使と交替することになつたので國民政府諸要人に對し挨拶のため昨廿八日午後十一時十五分の列車で南京に向つた、隨伴者は若杉參事官、堀內、有野兩書記官、横川秘書等であつたが時節柄北停車場は公安局の警官隊により警戒嚴重を極めた有吉大使は着京後林森、蔣介石、張群氏等に離任の挨拶を述べ廿九日夜張外交部長の別宴、卅日正午蔣行政院長の午餐會に臨んで卅一日夜南京發二月一日朝歸滬する豫定である、なほ國民政府では有吉大使多年の功績に報ゆる爲紅色白鑞大綬采玉章の最高勳章を贈ることに決定、本日林森主席より贈呈される筈である

全滿十四領事集め けふ領事會議開催

本年第一回全滿領事會議は廿九、卅兩日に亘り開催されることとなつたが、二十九日午前十時川村間島總領事を始め全滿十四領事並に大使館員は南大使を大使室に訪問、西尾板垣正副參謀長出席の下に挨拶をなし、これに對し南大使より訓辭があつた後同十一時より大使館會議室で會議を開催した、先づ谷參事官より挨拶があり續いて守屋參事官より大使の訓令傳達が終つて午前中の會議を終了、正午は高尾大使館朝鮮課長の大和ホテルにおける招宴に臨んだ續いて午後一時半會議を續開

一、在滿邦人の教育問題
二、治外法權撤廢の諸準備に關する問題

を討議する筈である(寫眞は第一日の會議)

内科 小兒科 呼吸器病
堂脇醫院
吉野町一ノ十一 電③五五一一番

大村副總裁 以下四名來京

關東軍と滿鐵との協議會に出席するため滿鐵大村副總裁、山崎、河本、佐藤、郡山各理事は本廿九日午前八時五十分着列車で來京した

兩理事は 今夕歸任せん

來京中の郡山、佐藤兩滿鐵理事は二十九日午後八時新京驛發歸連の豫定

杉山參謀次長 滿支視察へ

【東京國通】參謀次長杉山中將は來月八日滿洲、北支視察旅行に出發する事に決定した

河邊大佐 歸京の途につく

【奉天國通】教育總監部第一課長河邊大佐は廿七日新京から來奉、軍政部顧問中野中佐の案內で中央訓練所に赴き滿洲國軍の訓練狀況を視察し廿八日午前十一時四十分ひかりで歸京した

田中交通監督部長歸任

【奉天國通】田中交通監督部長は廿八日來奉、鐵路總局首腦部と國鐵鐵道事故防止につき協議を行ひ濱洲、濱綏兩線のダイヤ改正、廣軌線機關車の改造狀況を聽取の上午後五時三十分奉天發ひかりで新京へ歸任した

清水大佐來奉

【奉天國通】參謀本部第一課長清水大佐は安部中佐を同伴廿七日來奉、○○司令部並に特務機關と打合せの上廿九日朝飛行機で熱河視察に赴く筈である

人事往來

▲大村滿鐵副總裁 二十九日午前八時三十分着大連より
▲山崎、河本、郡山、佐藤各理事 同
▲佐藤文書課長、今石本祕書 同
▲西村二郎氏(山下汽船社員)二十八日午後ハルビンへ
▲吉田榮藏氏(會社員)同奉天へ
▲桝谷秀夫氏(安東領事)同午前來京ヤマトホテル
▲宗像金吾氏(滿鐵社員)同午後同
▲渡邊源藏氏(住友銀行員)同
▲新口利雄氏(同)同
▲花井修治氏(勸業公司)同
▲龜田武士氏(大連火災)同
▲村井啓次郎氏(同社員)同
▲阿部久治氏(陸軍中佐)同午後奉天へ
▲八田壽助氏(商人)同大連へ
▲小安千博氏(外務書記生)同來京名古屋ホテル
▲原田義和氏(步兵少佐)同
▲佃一雄氏(商店員)同
▲木田利助氏(雜貨商)同
▲宇佐美珍彥氏(奉天總領事)同
▲永吉由藏氏(土木業)同午後來京國都ホテル
▲中島崇雄氏 阪神鐵工所 同
▲米內山庸夫氏(海拉爾領事)同
▲森川覺三郎氏(三菱商事)二十九日午前來京國都ホテル
▲興津良郎氏(綏芬河領事)廿八日午前來京中央ホテル
▲森岡正平氏(吉林領事)同
▲川村博氏(龍井村領事)同午後同
▲後藤祿郎氏(錦州領事)同
▲小林光雄氏(會社員)同
▲横家治氏(同)同
▲野村齊氏(海運業)同
▲內海源一郎氏(辯護士)同
▲西郊四郎(海軍々人)同

その日〳〵

□外蒙兵性懲りもなく越境逆襲に監視哨を奪ふ、抗議のみでは效果ないことがもう判りさう

□相澤中佐を裁く公判、一言一句悉く含味すべきことのみ判斷はそれ〴〵に

□海軍研究の權威平田晉策氏、選擧を前に突如逝く、一度は議政壇上に立たせたかつた

□明後三十一日は双城堡戰鬪の記念日、今から三年前の昭和八年一月三十一日、轉た感慨無量

□列車震動試驗中の鐵道從業員振り落されて死亡、研究の犧牲今更ながらいたまし

‖姉妹の魅力‖ 柳咲子作

26……淺草(六)

『僕は、君と一緒に歸るのかい』
と不平さうに青年は口を開いて
『なるべくなら、歸りたくはないんだが……』
と、素ッ氣なく云つた。
すると、署長も横から口を出して、
『さういふ譯には行きません。岡家から保護願ひが出て居つたので本署では、君を引致したのです。君が、どうしても行かんといふなら、保護者に引渡すまで、本署に留置することになるんぢやが……』
と、說明するやうに云つた。秘書も言葉を添へて、
『この上、皆さまに御心配をおかけするのはよろしくありません。どうか御一緒に御歸り下さい』
と、云ふ。青年の顔には、いよいよ不愉快さがあらはれてゐたのです。そして、
『それでは、君と一緒に麹町へ歸るのかい?』
『いえ、とりあへず總監閣下の私邸の方へお越しを願ひまして、その上で、麹町さまのはうへ……』
と秘書が、斯ういひかけると、
『フン。多聞さうだらうと思つたよ……』
と、青年は、鼻先で嘲笑ふやうに、素ッ氣なく。
『君達にとつては、警視總監閣下かも知れないが、僕に取つては、やかましやの叔父に過ぎないんだぞ。お說教なら度々聞きあきてゐる……』
と、言つた。やかましやの叔父……この一言によつて、この信太郎と、いふ青年が、岡崇一郎の甥であるといふことが、署長を始め其處にゐた刑事にも判つたのです
『そんなことを此處でいつてゐても仕方がありません。自動車が待つて居りますから、直ぐ、まゐりませう』
と、促すやうにいつて署長のはうへ、
『信太郎君が、本署に留置されて居りましたのは、何か、犯罪行爲があつたゝめではないでせうな』
と、念を押すやうに訊いた。署長が、
『いや。絕對に、犯罪行爲はありません。岡家からの保護願ひがありましたので、保護檢束をしたに過ぎんのです』
と、きつぱり云ふ。勝子が貰ひ下げに來たやうな、喧嘩のことなどはおくびにも出さなかつた。
『どうも、いろ〳〵お手數をかけました。信太郎君。署長にお禮をいつて下さい……』
秘書が、注意するやうにいふと、
『御心配かけました』
と、彼は、形式的に、一寸署長のはうへ挨拶したのです。署長もそれに對して輕く頷いてゐた。
青年が、先に立つて署長の部屋を出ると、薄暗い廊下の腰掛けに若い女が、しよんぼりと腰を卸してゐるのが眼に入つた。其の後のはうには、二人の男が立つてゐる
勝子と、勝子の連れてきた若い者だつたのです。
一人が、思はず。
『あ、信兄貴!』
言はうとした時に、青年のはうから先に氣が付いて、
『何だ。來て呉れたのかい?』
といつて、勝子の前に立止つた
『あ、信ちやん?』
『二三日したら、淺草の家へ歸るから、心配しないでくれ!』
『あら。心配しないでッて、それぢや今夜から何處かへ行くの』
勝子が心配さうに立上つて訊ねると、
『すこし譯があつて、行かなければならないことが出來たんだ。だが心配なことぢやないんだから、姉さんにも、歸つてきたら、さう云つて置いて呉れ……』

來る三十一日は 双城堡戰記念日
十七名の英靈をなぐさめ 盛大な慰靈祭擧行

來る三十一日はさる昭和七年一月三十一日に勃發した双城堡戰の四周年記念日に當るので新京有志は同戰ひで殪れた第四聯隊所屬十五名、野砲兵第八聯隊の二名合計十七名の英靈を慰めるため現地の記念碑の前で慰靈祭を擧行する三十日午後十一時發列車で現地に向ひ三十一日午前五時二十分（給度襲擊をうけた時刻）から慰靈祭を行ふ故多數參加されるやう、なほ同記念碑は市內吉野町一丁目宮本嘉久治氏が同戰ひに從軍（通譯）した功勞により下賜された六十圓を基金として四百圓を投じ昨年十一月建立したものである

蒙古保安隊 周永久匪掃蕩
豐幾指導官戰死す

【錦州國通】蒙古保安隊七十餘名を率ひて多季匪賊討伐に當つてゐた朝陽縣警務指導官豐幾卓郎氏は去る廿六日午前八時頃黑寧子に於て匪首周永久の率ゐる匪團と遭遇交戰の後之を掃蕩したが、交戰中匪彈に斃れ壯烈な戰死を遂げた

露人警察隊 匪賊を擊退

【ハルビン國通】一月廿二日一面坡東葦河附近に於て白系露人警察隊員九名は匪賊約五十名と交戰し、中五名を射殺して之を擊退した、又同月廿三日露人隊長フヨトロフ氏の率ゆる警察隊員廿五名は葦河附近山寨に蟠居する匪首創天南の部下二百餘名の匪賊と激戰四十五分の後之を擊退した匪賊の遺棄死體十五、輕機一小銃十五を鹵獲し、我方隊員一人が負傷したが最近に於る白系露人警察隊員の殊勳として賞讃されてゐる

三十一列車遲着

二十八日午後三時五十分新京

◇……西公園の雪化粧

保險屋くづれの 集金橫領

岡山縣後月郡生れ元千代田生命保險會社新京支店外交員谷本健二（三一）は性惡のため昨年十月解雇されたが、保險會社の內容に通じてゐるのを奇貨に同十一月から市內各箇所から保險料金の集金をしてゐるのを二十九日午前一時ごろ城內の某料亭に登樓中岩田刑事が發見、引致取調べの結果十一月から八百七圓九十八錢を集金した旨自白した、なほ被害者も他に多數ある見込みであるから心當りある被害者は至急新京署司法係まで屆出でられたいと

アフガニスタン
最初の日本留學生六名來る

【上海廿八日發國通】アフガニスタン北田公使より當地に達した報道によると、アフガニスタン人青年六名が雄圖を抱いて日本留學の途に上つた日本としてアフガニスタンの留學生を迎ふるは之を以て嚆矢とする、一行は赴日の途次一月卅一日入港の郵船安洋丸で上海に寄港する

集まる！慰問袋
電業公司から六百個寄贈

地方事務所社會係で募集中の滿洲國軍警慰問袋はいろ〱の佳話を織りまぜて續々集つてゐるが二十九日電業公司本支店から六百個を地方事務所へ屆けて來た

約束が違ひ 滿人の傷害沙汰

二十八日午前十一時ごろ東五馬路門牌十號露店營業張富林（四二）は同居中の買振山（三二）と共同出資し露店營業を營むことを約したにかゝはらず買が出資しないため張が再三出資を要求しても聞き入れないのみか、却つて張に反抗的對度を示したゝめ張が憤慨共同營業の約束を廢棄する樣命じたところ買は矢庭に台所にあつた肉切庖丁を取出し張の顏面、後頭部に重傷を負した末自分も阿片を多量に服用し自殺を企て苦悶中を家人が發見し所轄長通路署に屆け出で同署から係員が急行直に兩人を東洋病院に收容應急手當の結果いづれも生命は取り止めた、加害者は意識を回復するや長通路署に身柄を留置した

春に叛いて 滿人の刄物自殺

市內大和通り十一番地內藤廣吉（四三）方ボーイ奉天省鐵嶺縣城內生れ曹憲民（三五）は二十八日午後八時卅分ごろ同家便所內で刺身庖丁で左胸部を突きさし自殺を遂げてゐるのを家人が發見、同時に新京署に屆出で、司法係員が死體の檢視を行ふとゝもに死因につき取調べたるに新京城內に居住する曹の弟が數回に亘つて金の無心に來たことがあり、今月も給料はもらはず正月といふのに着物一着、足袋一足買はずにゐる矢先二十八日午後二時ごろ再び弟が小使の無心に來たので主人から五圓受取つて弟に渡したところ弟は五圓では少ないといつて曹を毆打した事實があり厭世自殺を遂げたものと判明した

進行中の"ひかり"から 振り落され死亡
不幸、列車震動調査中の危禍 新京保線區中村菊次氏

新京保線區雇員市內羽衣町二丁目九號ノ一中村菊次氏は列車震動調査のため今朝七時新京發ひかりに便乘して調査中七時二十分ごろ孟家屯驛通過直後列車から振り落され頭部强打撲、左腕擦傷人事不省に陥つた、應急手當のため第四十一列車で新京に引返してゐる途中午前八時三十五分頃遂に死亡した、享年三十二原籍は長崎縣一岐郡勝本町であるなほ遺族は未亡人ヨシヨ（二七）さんと長男茂（五才）さんの外に未亡人は姙娠八ヶ月の身重の體である

街の日記
社員會聯合會の 役員會議

新京滿鐵社員會聯合會役員會議は二十八日午後三時から地事所長室にて開催各役員出席の上滿洲國軍警慰問袋一千個を贈ること社員慰安映畫會開催の件を決定滿鐵創立三十年記念事業につきては意見區々にして纏まらず四時過ぎ散會した

社員慰安に 性病豫防映畫

新京滿鐵社員慰安映畫は二月一日午後六時より新京高女體育館に於て開催するが上映の映畫は東京性病豫防協會が莫大な費用を投じて獨逸から輸入した『結婚十字街』『あやまれる羞恥』の二種であるかこの映畫は滿鐵社員の性病豫防を目的に特に社員の慰安映畫として上映するものであつて子供學生は入場をお斷りすると

八島校優勝祝ひ

去る二十六日奉天における沿線小學校スケート大會に優秀な成績を收めて歸校した選手一同の勞を犒ふため市內室町西廣場、八島、白菊の四小學校では二十八日午後何れも一堂に會し茶菓を喫しての慰勞會を催したが特に優勝校八島小學校では引き續いて指導者の慰勞を兼ね祝勝の乾杯をなした

建國行進曲 各團體に配布

來る二月十一日建國祭の建國大行進には在京邦人は擧つて參加し淺春の國都に一大繪巻をくりひろげるが主催者はこの行進に『建國行進曲』を合唱し大いに氣勢を揚げるべく地事社會係では建國行進曲を印刷し各學校その他團體に配布すべく準備を急いでゐる

新京醫院外科 醫員の更任

滿鐵新京醫院外科醫員土岐勝人氏は公主嶺醫院へ轉任、後任鴨田正治氏着任、二十九日更任挨拶に來社した、因に土岐氏は來月一日發赴任する

寄附

市內中央通長春醫院岩間亮氏は息女志津さんの忌明に際し金五十圓を貧民救濟基金として地事社會係に寄附した

附寄

新發屯豐樂路百二號清水飲食店では拾得品屆出での謝禮金一圓を貧民救濟資金として新京署へ寄附した

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇落語「萬金丹」（東京）三遊亭小圓朝▲七・二五合唱と管絃樂—東京日比谷公會堂より中繼—▲八・〇〇琵琶「元寇」（東京）賓田晁蓑

あす（三十日）

△ベルトラメリー能子獨唱會 記念公會堂

東洋自動車會社 出張所燒く

二十八日午後十一時十分ごろ永長路二三東洋自動車株式會社新京出張所事務室から出火し事務室、寢室、工具置場三室を全燒した、急報に接し日滿消防隊員が馳けつけ消火に努めた結果同四十分鎭火した損害二千五百圓、原因は目下總領事館署で取調べ中である

軍政部大臣歸任

舊正月を奉天で過した于軍政部大臣は二十八日午後九時着ヒカリで歸京した、尙同日奉天に於て鐵路總局首腦部と國鐵事故防止對策其の他に就き種々協議を遂げる所あつた田中交通監督部長も同列車で歸京した

山形縣で 列車墜落
死傷者六十名

【山形國通】二十八日午前零時四十分頃面白山トンネル工事場を發車して山寺驛に向つた建設列車は山寺驛の手前約二キロの地點にある森岡鐵橋に差掛つた際大雪崩に遭遇、機關車は人夫八十名を乘せた客車二輛と共に數十尺下の河原に墜落、死者二十名、重輕傷者四十名を出した、急報に接し運輸事務所より救援列車を仕立て鐵道職員、醫師、看護婦數十名を乘せ午前四時半現場に急行した

沿線接客業者の 糞便檢査
新京も着手

關東局警務部では沿線各地における赤痢病豫防上の資料とするため各警察署を通じて昨年中に赤痢に罹つたもの及び接客業者全部の糞便檢査を至急實施する、右通牒をうけた新京署衞生係でも直ちに檢便に着手すべく準備にかゝつたが管內に昨年中罹病者は約二百名、接客業者は約八千名の合計八千二百名の檢便に約一ヶ月を要するだらうとみられてゐる

アナ君の合格者決定 珍答案も續出

既報の如く電々放送課では今度新にアナウンサーを募集したが、定員三名に對し應募者實に五十三名の多きを見たので二十七、二十八兩日に亘つて嚴密なる採用試驗を行つた結果左記の諸君が合格した

原田密玄（兵庫縣）昭和七年大正大學出身
野村哲衞（東京市）昭和三年早稻田大學出身
上森重治（岡山縣）昭和十年早稻田大學出身

二十七日先づ常識試驗からはじめたところ目下來朝中の聲樂家シャリアピンをヘイアーピンと間違へたり、相撲の三役を日清、日露、日獨の三役と答へるもの、文士の吉村多彥が電々社長、新京放送局長になつたり、ワルワールは滿洲國にあります、U・S・S・Rとはルーズヴエルトの產業復興政策です、コロタイプは日語の小型です等々仲々の珍答案も現れて係の試驗委員を苦笑させた、二十九日には常識試驗に合格した十五名の中聲音、體格、人物試驗を行ひ深更まで協議に入つた尙試驗委員は井上總務部長、長谷川放送局長、建部放送課長、木村放送局業務係長、中谷調査課長、松尾企畫課長、金澤放送係長で合格者は諸般の教育を受けた後各地の放送局に勤務することゝなつてゐる

金庫破りの 窃盜捕はる
今朝マルセーユで

二十九日午前五時ごろ三笠町カフエーマルセーユの金庫を破壞せんとしてゐるを家人が物音に驚き發見有無をいはせず捕へ警察へ突き出した、取調べの結果右は山東省生れ住所不定無職趙永任（二八）で甘栗太郎を初め前後七回に亘り邦人宅專門に金庫を破壞貴金屬を窃取してゐた窃盜犯人と判明餘罪目下取調べ中である

大汽の東豐丸 航行中發火 大連に引返へす

【大連國通】大連汽船の貨物船東豐丸四、七一七噸は微粉炭、特粉、中塊炭七千噸を積んで二十七日午後五時五十五分甘井子を出帆、川崎に向ふ途中、同日午後九時二十三分頃大連を去る三十五浬の地點圓島附近航行中第二ハッチが爆發と同時に右舷前部より發火せるを發見直ちにS・S・Oを發しつゝ大連に引返し今曉二時大連に到着したが今尙ほ燃盛つてゐるが原因不明である

飛行隊員や 軍官候補生通過

三十一日午前十一時三十五分着列車でハルビンより飛行隊員〇〇名新京着同午後二時四十分の列車で奉天へ向け出發の豫定

二月三日午前七時着列車で奉天より滿洲國軍官候補生六十名來京同九時の列車でハルビンへ向け出發の豫定

宣撫委員會で 映畫大會開催

【ハイラル國通】宣撫委員會の主催する映畫大會は廿六、七、八の三日間に亘り警察局跡で開催され連日大入滿員の盛況を呈した、中にも蒙古人の觀覽者が多く入つて日本の紹介映畫の時には終始感嘆の聲を發してゐた

滿洲國情報社を 改め日滿情報社

新京興安大路六〇六の高井健全氏主宰する滿洲國情報社は今度日滿情報社と改名した

平田晋策氏死去

【神戸國通】軍事評論家平田晋策氏は兵庫縣第四區より立候補すべく歸縣し去る廿三日阪神國道芦屋で自動車衝突のため重傷を負ひ御影東明病院に入院してゐたが腦出血が日に及び廿八日午後八時五分遂に死去した、享年三十八

天氣と氣温

明日の天氣 北の風晴後曇
日の出 午前七時〇〇分
日の入 午後四時四十四分
月の出 午前九時四十一分
月の入 午後　時　分
けふの氣温 最高零下十九度七 最低下零廿九度三

第三十七期決算報告
貸借對照表、金勘定 昭和十年十二月三十一日現在

借方（資産）之部

科目	金額
拂込未濟資本金	六〇〇、〇〇〇・〇〇
證書貸付金	三〇、一七八・七七
手形貸付金	一、〇七〇、八五六・五三
割引手形	六、二〇九・七〇
荷付爲替手形	—
當座貸越金	三二八、二二一・八五
他店へ預ケ	六三、六・四五
他店へ貸	四九[illegible]・五一
未收利息	五、四四九・七一
預ケ金	四七七、四[illegible]四・七五
假拂金	七五・〇〇
營業用土地建物	一〇〇、〇〇〇・〇〇
所有土地建物	七四、[illegible]〇〇・一〇
所有有價證券	二七、四一五・〇〇
營業用什器	一、七七〇・〇〇
對國幣勘定	七八、三一五・七八
金銀	六六、一二〇・五六
合計	二、四七六、五七八・五六

貸方（負債）之部

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	七九〇、〇〇〇・〇〇
別途積立金	二二〇、〇〇〇・〇〇
諸銷却基金	一六、一〇〇・五三
行員退職給與基金	二〇、〇〇〇・〇〇
當座預金	四、四五五・〇〇
特別當座預金	二五六、〇〇九・六四
定期預金	四一八、〇八・六六
別段預金	五六、〇一〇・二三
通知預金	四五、〇〇〇・〇〇
他店ヨリ借	一、五一五・七七
他店ヨリ預リ	五二・〇八
收入未經過割引料	五 一九七・六七
未拂利息	四一・五一
株主配當金	二、五四六・四五
當期純益金	五一、八九一・三五
內前期繰越分	一〇、六八一・三一
合計	二、四七六、五七八・五六

國幣勘定

借方（資産）之部

科目	金額
預ケ金	五四、八五二・一五
未收利息	一八・〇〇
手形貸付金	六八、六七九・七〇
當座貸越金	四、四一六
金銀	三二、一[illegible]四・二〇
合計	二六、一六八・二[illegible]

貸方（負債）之部

科目	金額
當座預金	七、九五一・四五
特別當座預金	二九、四〇九・二〇
別段預金	二四三・七〇
定期預金	—
收入未經過割引料	一九六・九六
未拂利息	五五・〇六
對金勘定	七八、三一五・七八
合計	二六、一七八・二一

利益金處分
自昭和十年七月一日
至昭和十年十二月三十一日

一金九萬四千二百十三圓八十錢也　當期總益金
一金一萬六百八十二圓三十一錢也　前期繰越金
內金五萬三千四圓七十八錢也　當期總損金
差引金五萬一千八百九十一圓三十三錢也　當期純益金
之ヲ處分スルコト左ノ如シ
一金二千六百圓也　法定積立金
一金一萬圓也　別途積立金
一金七千圓也　行員退職手當基金
一金五千八百九十九圓四十八錢也　諸銷却基金
一金壹萬貳千圓也（年六歩割）　株主配當金
一金貳千五百圓也　役員賞與金
一金壹萬壹千八百九拾壹圓八拾五錢也　後期繰越金
右ノ通リ候也
昭和十一年一月廿八日
株式會社新京銀行
頭取 島名耦十郎
常務取締役 梅津清兵衛
取締役 丸山直助
取締役 山下藤藏
監査役 森野常太郎
監査役 寺內清次

映画と演藝

能子女史獨唱會 明夜七時から

プログラム一部變更

本年劈頭の國都を賑はす音樂會として素晴しい前人氣を煽つてゐる名ソプラノ歌手ベルトラメリイ能子女史の獨唱會は各方面の絶大なる期待裡に愈よ明三十日午後七時より記念公會堂において開催されることになつたが、當日は定めし盛會を呈すべしと豫想せらる、プログラムは既報一部を變更して出來る丈け充實したるものとして好樂家の希望に添ふべく左の如く伊太利古典歌曲、同現代物及び歐洲ローマン派より何れも代表的の名曲を拔き且日本現代歌曲をも加へ、特に第二部の歐洲ローマン派のものは全部日本譯詞に依ることゝした、伴奏は最初多部三郎氏の處都合に依り天池眞佐雄氏に決定した、(會費二圓前賣一圓五十錢學生券一圓、前賣は各蓄音器店で取扱つてゐる)

△第一部（伊太利古典歌曲より）
一、パストラーレ　ヴェラチーニ曲
二、ニーナ　ペルコレージ曲
三、此處に彼の君の御聲優しく我を呼び給ひしか（歌劇聖教徒より）　ベッリーニ曲

△第二部（歐洲ローマン派より）
四、マリアの子守唄　マッリスレーガー曲　伊藤武雄譯詞
五、菩提樹の歌　シューベルト曲　近藤朔風譯詞
六、セレナータ　トスティ曲　堀内敬三譯詞
七、子守唄　モツアルト曲　堀内敬三譯詞
八、七つの舟にゆらめく七つの灯　ルアルディ曲　アーダネグリー詩

△第三部（伊太利現代派より）
九、川邊にて　チャンルーカトツキ曲　アーダ・ネグリー詩
十、我れ我が心のあとを行く　ブランテツラ曲
十一、三人の鼓手（伊太利トスカノ地方傳説民謠）　アンドニオ・ベルトラメリ詩　ベルトラメリ能子共編曲　エンニオポリーノ

△第四部（日本現代歌曲より）
十二、小諸なる古城のほとり　弘田龍太郎曲　島崎藤村詩
十三、お六娘　橋本國彦曲　林柳波詩
十四、佐渡ヶ島　藤井清水曲　野口雨情詩
十五、曼珠沙華　山田耕作曲　北原白秋詩
十六、松島音頭　同上

"與太者と若夫婦" 三十日から長春座封切

長春座三十日よりの番組は松竹封切品二本にパラマウント社作品一本を加へた和洋大衆本位の三本立編成である

△蒲田「與太者と若夫婦」三井秀男の代りに花村千惠松を起用して甦生した新與太ものトリオの第一回作品柳井隆雄のオリヂナルものを野村浩將が監督作品したもので例によつて大いに笑はせる仕組みになつてゐる助演者は坪内美子、撮影は高橋通雄、新トリオといふところに期待がもてるであらう、オールトーキー

▽京都「め組の喧嘩」多島泰三の監督するオリヂナルもので林長二郎、高田浩吉、阪東好太郎、阪東橘之助、飯塚敏子、井上久榮等京都のオールメムバーを華やかに動員した極めて意勢のいゝ顔見せの一篇である、オールトーキー

▽パラマウント「かぼちや大當り」ノーマン・マクロードの監督する作品でW・C・フイールルズが主演する唯我獨尊、無鐵居士フイールズ先生が西部に何をしに行つたかを語る寫眞で徹頭徹尾笑はせてくれる、無類の喜劇である助演者は「坊やはお休み」のベビイ・ルロイといふから大いに嬉しいものがある

新興キネマ 三十日より 純情一座

新京キネマ三十日よりの番組は日活封切品二本にダグラスものを加へた三本立編成である

▽日活太秦「新佐渡情話」壽々木米若の浪曲トーキーで清瀬英次郎の手になる作品である、黒川彌太郎と花井蘭子が佐渡千島に哀れ散つた美しい悲戀の物語りを熱演しやうといふ趣向である

▽日活現代「純情一座」「うらら街の交響樂」の姉妹篇で同じく渡邊邦男の監督する作品である、サトー・ハチローの好みに取材した感傷的一篇で小杉勇、江川宇禮雄、杉狂兒、中野かほる、高松美繪子等が主演する、好調の渡邊邦男の監督ぶりに期待が出來やう

▽ユナイト「ドンQ」ダグラス華やかなりし頃の大作で思ひ出せば懷しいものがある、一頃日本ものあたりにも燒直しされた程の活劇的煽情味の横溢した痛快篇でダグラスもあの頃は物凄く意勢がよかつたものである

雜音

長春座、新キネ、帝キネ三館一齊にあすから寫眞が替る、帝キネの再映週間を除いて他は一番組級二本に洋畫を加へた編成、長春座の「お笑ひ」と新キネの「感傷」が面白い對照をみせる▼豐樂劇場にR・C・A三六年式九一型が据付けられた、東洋に二台しかない優秀なものと言はれる、甚だ良心的なサービスで結構であるが、たまには投書をするやうなお客さんに滿足を與へる寫眞も掛て見ることが必要であらう、さもなくば機械が泣き出さう▼長春座にウエスタンガ備はつた時には「ベンガル」と「絢爛たる殺人」が再上映され、成程素晴しいとお客さんが承認したと言ふはなしが殘つてゐるあれは頭のいゝ藝當であつた

一月三十日　舊正月七日　木曜　辛亥　先勝　開　井宿

●一白の人　遲滯したる事も容易に解決せらるゝ良運日　乙と丙と丁が吉
●二黒の人　内憂外患至る努めて災禍を避くる用意あれ　丁と庚と壬が吉
●三碧の人　八方に手を擴げて收支償はざること有らん　乙と丁と庚が吉
●四緑の人　時運佳なれば發奮に吉なれど同情を失ふな　乙と辛と乾が吉
●五黄の人　一家の反目交友との反感を防げば至極平穩　丁と庚と癸が吉
●六白の人　見込違ひを生じ易き日又病厄盜難怪我注意　甲と乙と巽が吉
●七赤の人　挫折を來たし再興容易ならざるに至る凶日　丁と庚と癸が吉
●八白の人　外敵を受け進退に惱むが如し病盜の災警戒　丁と庚と癸か吉
●九紫の人　本業を堅く守れば自ら利德加はるべき吉日　庚と辛と癸が吉

嘯く白島（新興、高田プロ合同サウンド版）

婦人倶樂部連載加藤武雄原作小説の映畫化である、陶山密が脚色に當り監督には田中重雄が當つた、主演者は高田稔、清水將夫、伏見信子、高津慶子等で關東大震災前後に亘る世相の變轉を背景に友情と戀愛の桎梏に惱む二組の男女の交渉を描いた作品である、キャメラは二宮義雄テーマの大衆性が喜び迎へられるであらう、一日帝都キネマ封切、スチールはその一場面

混亂廣軌沿線に對し滯貨輸送策決定
滿鐵・總局の應急處置

【大連國通】廣軌線に於る機關車運轉の不馴れと極寒に原因して列車運轉は非常な混亂を生じ、水豆の沿線滯貨約六十萬噸一般貨物約二十萬噸に上り滿鐵・總局は之が對策に狂奔しつゝあるが、現在の滯貨を一掃する必要上取敢へず應急策を講ずる事となり、滿鐵は京濱線に於る貨物列車四本を鐵道部運轉として引受けたほか沙河口鐵道工場より修繕工をハルピン、チチハル兩鐵路局に派遣、別に運轉從事員も派遣する事となつた、今期輸送期は此應急策をもつて切拔け恒久的對策は鐵路總局に於て計畫する筈である

電々會社 庶務課長詮衡

滿洲電信電話會社の技術部庶務課長は現在中田技術部長が兼任してゐるが專任課長を置く要あり、中田部長から遞信省に對し適任者の斡旋方依頼があつた、大體遞信省工務局技師から選任される模樣である

安奉賃率問題で
安義商工界對策協議

【安東國通】二月一日より實施の國有線運賃改正による安奉線の運賃低下は僅かに菓子罐詰、酒、綿糸布、地下足袋石油、機械類等であるが、その他の商品に就ては却つて賃率增加となり、殊に米、鮮魚鹽魚、果物、絹織物、木材、薪炭等の朝鮮重要特産品にして最近漸く滿洲に進出しつゝあるものゝ新運賃は豫ねての要望を裏切り引上げられることゝなつたので安農商工界は大いに當惑し目下對策協議中である

臺灣銀行 大連支店設置か

【東京國通】臺灣銀行は臺灣滿洲兩國間の直接貿易增進の傾向あるに鑑み從來同行の上海支店の行員を大連に派遣駐在せしめてゐたが此の制度を改めて大連に出張員乃至支店設置の計畫を進める一方目下大藏省に認可申請中である

滿洲電氣事業法制
法規制定委員會開かる

【大連國通】昨年五月公布された滿洲電氣事業法については其後日滿兩國關係者より成る特別委員會に於て更に之が關係法規の起草を急ぐ事となり廿七日より三日間に亙り遞信局に於て日滿當局出席の上
一、施行規則
一、自家工作物規程
一、電氣工作物規程
の諸項に關して審議した、右終了後、來る三月頃新京に於て全委員會を開催、最後的審議の上日滿兩國政府に咨申遲くも五月頃には公布の運びになるものとみられてゐる、右により三ヶ年に亙る滿洲電氣事業に關する法制法規の全貌が整へられることになつたものである

硫安配給組合 追加輸入反對

【東京國通】硫安配給組合では來る二月一日理事會を開き本年度協定に依る外國硫安十二萬五千噸は一月末より六月迄の間に全部輸入完了の豫定であるが、農林省當局が更に追加輸入を希望してゐるに對し組合側は寧ろ本年は過剩を來すとの見解を有してゐるので之が追加輸入の可否に關しては相當審議がなされるものと觀られるが結局當局の希望に副ふものとみられる、當日は大體二萬噸程度の追加輸入を決定する模樣である

日産自動車 販賣會社創設

日産本社を大株主とするダットサン・トラック販賣會社はいよいよ二月一日から開業する

長夜漫々

外國資本の內地産業獨占が問題となつてゐる、それは外國資本の入つてゐる日本の會社中外國特許の使用權に對して多額の料金を海外に支拂つて國貨を流出せしめて居りその製品の販路は內地や滿洲に限定されてゐる、これがため同一系統りるといふのである▼政府當局日本産業は甚しい壓迫を受けても種々對策を考究中であるそうで、電球の如き至る處係爭問題を生じ窮地に陷つてゐるものもある由、恐らく今度の特別議會で一部有志代議士たちにより質問趣旨書が提出され、何らか打開の途を講ずるに至るかと思はれる▼日本はいゝが、滿洲にも今後はそのやうな問題が多々惹起されるであらう、萬邦協和もブロック經濟時代には仲々困難な途である、排除したいものは南の方からも西北からもこの滿洲へ押し狢せるかも知れぬ三千萬の大衆は何處にそれを訴へたらいゝのか—「この國の酒店にきくや民の聲」

滿洲に於ける自動車の發達とその將來(二)

次に北滿で、殊にハルビン等に於て市內十錢といふ安い料金でタクシーがこゝ兩三年來支那馬車や人力車を盛んに驅逐しつゝある所以は、露人は誠に技術的に器用でシボレーの古いシャシーにフォードのエンヂンの古いのを取付け自分で小細工して、兎に角前輪がブルブル振れながらでも走れるといふ狀態までに古車を漕ぎつけ、破損した場合でも、修理工場に入れるといふことはせず、同じ露人の解體屋街を軒並歩いて一番安い店で部分品を買込み、その店の前で自分で取付け、それで街を營業して歩くのであつて、ガレーヂにも入れず、夜は往來の端に置いてその中で寢てゐる、夜中でも客が來れば起され次第直ぐ十錢で走り出すといふのである

兎に角、甞は流しタクシーをして歩き、四キロ半位までの距離を十錢で行くのであるから、之では支那馬車も人力車も驅逐されるのも道理であることが理解出來る、かくて露人は逐次自動車へと慣らされて行くのであつて、慣らさるゝに從ひ高級車へと移り變つて行くのであるから、支那馬車怖るゝに足らずといふ事にもなるのである、したがつて將來のタクシー界は相當の發展は望めるのである

貨物自動車の發展性　新國家の建設と産業の開發との爲滿洲國に於ける貨物自動車の需要は非常に增加しつゝある全滿で約三千輛と稱せられ、その內大なるものは國際運輸の三百臺(フォード大部分次にインター、シボレーの順)鐵道建設局の四百五十臺(シボレー三百臺、インター九十六臺、フォード五十臺)等の大口所有者を初めとし、それに國都建設の關係上、それ等關係の組合や個人の所有者數も相當多く、それ等を合し約五百名の經營者持主等によつてその運行が司られてゐるものである

こゝに特記すべき事は、インターナショナルの非常に多き事で北滿のインターだけで約六百輛あり、南滿、北滿を合する時は約一千輛に達するこれは、シボレー、フォードに比し値段は少しく高いが、車が頑丈なため、滿洲の如き荒地には最も相應しきものとして、かくの如く夥しき需要を見せてゐる譯である

道路建設計畫に於ても、今のところは國防、治安の關係を主として築造しつゝあるのであるから、之が一段落がつき、産業開發を主とする道路の建設に愈々着手開始の事となれば—直ちにその道路を利用しての物資の輸送はいやがうへにも殷盛を極むることゝなつてくるもので、斯る關係等より將來の貨物自動車運輸界は相當發展をなすものと豫想されてゐる

前途洋々たる乘合自動車　滿洲國內に於ける縱橫の交通網を急速に實現するには乘合自動車によるの外ない鐵道敷設費一粁十萬圓に來し乘合自動車は車體と道路の築造を併せて五千圓を以て事足る、この點豫算の上先づ乘合自動車が運輸の王座を占むることゝなるは明である

先に安東城子疃間二百二十粁の鐵道敷設に千五百萬圓を豫算されたに對し、自動車なれば八十萬圓あれば足るといふ事で、しかも輸送能力に於て、鐵道に比し旅客五〇%、貨物一五%の能力を有すといふのであるから、當然乘合自動車に決定された譯である、やがて完成する六萬粁の國道上には乘合自動車約六千臺が縱橫馳驅することゝなるであらうが、これが大部分は鐵路總局が經營することになるであらう

一月中旬の新京驛在貨

新京商工會議所調査により一月中旬の新京驛院內在貨及びその數量左の如くである

品目	數量
△特産物	
大豆	九、六〇八
其他の豆類	三、二二四
米及籾	一、三六六
高粱	七、四九一
苞米	一、七五八
粟	四八六
小麥	二、六八八
穀類種子	八四六
豆油	一、一三七
豆粕	六〇〇
計	二九、二〇四
△其他	
木材	八、七四六
薪炭	七八五
麥粉	八九八
綿糸布	一、〇〇〇
麻袋	八〇〇
其他	八、〇五四
計	二〇、二八三
合計	四九、四八七

海外經濟電報

倫敦銀塊 休會
同 先限
紐育銀塊 四四仙四分三
孟買銀塊 休會
米英爲替 [illegible]
米日爲替 二九弗二五仙
米支爲替 三〇弗一五仙
スチール 休
アナコンダ
英日爲替 四七弗四分三
英支爲替 三〇弗八分三
印日爲替

▲米棉
現物 一一仙八〇
三月限 一一仙三一
五月限 一一仙〇五
七月限 一〇仙八〇
十月限 一〇仙三二
十二月限 一〇仙三二
一月限 一〇仙三一

▲印棉
ブローチ 休會
オームラ
ベンコール

▲市俄古小麥
五月限 一弗一仙〇〇
七月限 八九仙八分一
九月限 八七仙八分七

▲カルカッタ麻袋
買筋 休會
賣筋

商況欄 (一月廿九日前場)

金銀市況

●上海標金
本寄 二五七、二〇
歩 [illegible]

●大連金鈔票
現物 寄付 九九、六五 引 九九、九〇
一月廿八日限 寄付 九九、九〇 歩 一〇〇、〇〇 出來高 [illegible]
二月十三日限

●大連鈔票銀大洋
寄付 一九五 歩 九〇

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回賣 一〇〇、二五 買 一〇〇、三七五
第二回賣 一〇二、二五 買 一〇三、三七五
第三回賣 [illegible] 買 [illegible]

▲倫敦向
第一回賣 一志二片三二分一五 買 [illegible]
第二回賣 [illegible] 買 [illegible]

▲紐育向
第一回賣 二九弗一六分一五 買 三〇弗〇〇
第二回賣 [illegible] 買 [illegible]

▲大連爲替
▲上海向 一〇三、二〇〇 出高
一〇三、〇〇〇 入高
▲營口向 一〇三、六〇〇
一〇三、四〇〇
一〇三、二〇〇

▲阪神日米爲替
第一回賣 二九弗 買 八分一
四分一

▲阪神日英爲替
第一回賣 一志二片 買 一〇〇〇
六分一

各地株式事市況

●東京株式(短期)
寄付 高値 安値
東新 一六〇、七〇
鐘新 一六二、四〇
滿鐵 五七、八〇
日産 七四、二〇
大新 九三、〇〇

株式市場

▲大阪株式(短期)
寄 引
大新 一三二、四〇
鐘新 [illegible]
東新 一三三、九〇
日窒 [illegible]

▲大連株式(短期)
寄 引
日魯 [illegible]
五品 [illegible]
豆鈔 [illegible]
鐵新 [illegible]
滿新 [illegible]
東新 [illegible]
二新 [illegible]
日産 [illegible]
鐘新 [illegible]

▲奉天株式(短期)
寄 引
滿取 [illegible]
東新 [illegible]
大新 [illegible]
日産 [illegible]
五品 [illegible]
豆新 [illegible]
鐘新 [illegible]
滿鐵 [illegible]
二新 [illegible]
電甲 [illegible]
同乙 [illegible]
東拓 [illegible]
滿興 [illegible]
優光 [illegible]
滿毛 [illegible]
東亞 [illegible]
日魯 [illegible]

商品市況

▲大阪綿糸
寄 付
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]

▲大阪棉花
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]

▲大阪人絹
當限 [illegible]
先限 [illegible]

商品市況

●大連大豆
袋入 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]

●同 豆粕
現物 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]

●同 豆油
現物 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]

●同 高粱
現物 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]

●哈爾濱大豆
二月限 一、六〇〇
三月限 一、三五〇
四月限 一、六〇〇

●同 小麥
廿來高 一一〇車
二月限 一、五四五〇
三月限 一、五七五〇
四月限 一、〇〇〇〇

●神戸豆粕
廿來高 一五〇車
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]

新京取引所市況 (一月二十八日前場)

●大豆
現物(一石値段)
期物(混合百片値段)
寄 引 廿來高
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]

●高粱
現物 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部専用三三〇五 營業部専用三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

滿拓第一回移民四百 二月下旬密山へ入植

灌漑の便を利用水田經營 愈よ本格的事業に！

拓務省移民は今年から滿洲拓殖會社の手によつて指導管理されることゝなつたが同會社では二月上旬坪上總裁の歸任を俟つて本格的事業に着手することゝなり、先づ手始めとして二月下旬密山縣に第四次移民の本隊約四百名を入植せしむることゝなつた、第四次移民は密山縣城子河、哈達河流域に入植するが、同地方は既に昨年先遣隊約百名が入り民政部拓政司と協力して諸施設の準備を完了してゐるので本隊の入植と共に直ちに農業に從事出來るやうになつてゐる、而して同地方は治安良好で灌漑の便に富んでゐるので從來の移民が畑作を主としてゐるのに對し第四次移民は水田經營を主に畑作を行ふ方針で内地人による水田經營の先鞭をつけるものと期待されてゐる

日本品の進出は 米輸出貿易の減退に關係せず

米關稅委員會の報告

【ワシントン廿八日發國通】アメリカ關稅委員會は本日アメリカの貿易に關する一報告書を發表したがその中に於て日本商品の進出はアメリカ輸出貿易の減退に何等關係なきことを明らかにし且日本がアメリカにとつて重要な顧客である事を指摘し注目すべき意見を開陳してゐる、其の内容は左の如し

一、日本の輸出增加はアメリカのヨロツパ及びカナダ向け輸出減退と殆んど關係はない、又日本の南米向け輸出は增加したが對南米輸出は日本の貿易總額中の一少部分を占めるにすぎずアメリカの對南米輸出額に比較すると極めて僅少である

一、日本の對米貿易は近年增加し一九三二年以來の統計に依つて見るも日本のアメリカよりの輸入額は其の對米輸出を著しく超過してゐる、これに反して日本のアメリカ以外諸國間貿易に於ては輸出は輸入を超過してゐる

一、アメリカの對日輸出主要商品は棉花であるが、更に各種の原料品、半製品及び完製品が輸出されてゐる

一、日本がこれ等物資を輸入せずとしてもアメリカとしてはその一部を日本以外の諸市場へ振向ける事が出來るが然しアメリカの物資はその販路を發見するに困難であらうし、又假令それが出來るとしても價格を著しく引下げねばなるまい

一、一方日本はアメリカ以外各種の原料品供給國を有つてゐるからアメリカとしては特に此の點に留意し、貿易の維持振興に努めねばならぬ

十河興中公司社長 重光次官と懇談

【東京國通】興中公司の十河社長は廿八日夕外務省に重光次官を訪問懇談したが右は同公司が愈々全面的日支經濟提携工作に乘出すに就き外務省の諒解を得たものと見られる

尚十河社長は卅日渡支の途に就き冀察政權、南京政府の財政部長孔祥熙、中國銀行理事長宋子文、實業部長呉鼎昌の諸氏及び浙江財閥、西南の華僑財閥代表と懇談するが其際孔祥熙氏に提示すると傳へられて居る提携方針は左の如し

一、日本は獨占的に經濟利權の獲得を毫も欲せず、且眞に中國の經濟發展を圖らんとする第三國と何時でも提携する用意あり

一、中國の經濟更生は支那民衆の購買力を增進せしむる事を根本義とす

一、中國企業家との合辦事業に就ては興中公司が日本資本の誘致を圖る

全滿領事會議に於る 南大使の訓示

二十九日全滿領事會議に於ける南大使の訓示左の如し

茲に本日本使着任以來第二回目の全滿領事會議を開催するに當りて諸官の壯容に接するは本使の頗る欣幸とするところである、昨年一月本使の着任匆々開かれたる領事會議の際に本使の對滿政策につき所懷を述べて置いたのであるが爾來當大使館員及全滿領事官にも相當の人事異動ありたるが故に本使はこの機會に於て過去一ケ年のことどもを回顧しつゝ多少重複をも顧みず一言所懷を述べて諸官の職務執行上の參考に資することと致し度い

一、滿洲事變以來第六年の新春を迎へ世に所謂三五、六年の非常時の第二年に入りたる次第であるが、幸にして非常時第一年に於ては帝國文武各機關の努力と國民上下一致の熱誠とにより我國運發展の跡顯著なるものがあり特に日滿關係に於ては滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀滑りなく取行はせられて日滿一德一心の不可分關係愈々强固なるものがあるのは誠に同慶に堪えぬところである

又滿洲國内に於ては治安の確立と庶政の整備に於て昨年度は劃期的の進展を示したのであるが、その間諸官が良く部下を統率し日滿各機關と協力せられた勞は本使の深く多とするところである、然れども今日世界各國就中東洋諸國の政治的、經濟的狀態並に國際關係の情勢を顧みると共に新興滿洲帝國に於て對内的にも對外的にも今後爲すべき幾多の事業に就て考へて見るならば一九三六年なる年は我帝國の直面せる非常時の峠を越すの年であると斷定する事は到底不可能である、滿洲事變後の五ケ年は帝國にとり誠に多事多難であつたと共に帝國の歷史に銘記せらるべき幾多の事蹟を殘したのであつたが、吾人は滿洲事變以來の第二の五ケ年が帝國にとり更に一層多事多難なるべきを覺悟すると共に、一九三六年こそはこの第二の五ケ年の最初の年として最有意義であると信ずるこの意味に於て本使は諸官がこの本年の劈頭に於てこの上とも部下の志氣を鼓舞し規律を嚴肅にし以て職務の遂行に邁進されん事を切望する

二、今や全滿に亘り治安が確立され交通機關が整備されるに伴ひ我同胞の進出躍如たるものがあるのは諸官の熟知せられる通りであるが此の傾向は本年度に於ても引續き顯著なるものがあることと思考する、從つて此に隨伴して當然生ずべき諸問題就中學校問題等に付ては早きに及んで充分なる對策を講じて置くの必要がある、云ふまでもなく諸官は全滿各地に於て直接在留同胞に接觸し彼等を指導監督すると共に彼等の利益を保護助長するの地位にあるが故に我國策遂行の第一線にある數十萬同胞の利害休戚は諸官の努力に俟つこと大なるものがある、從つて本使は諸官が彼等の立場と正當なる要望に對して充分の同情と理解を寄せられ其保護に於て缺くる所なきを期待するものである、唯此處に注意すべきは最近急激に增加しつゝある在滿同胞には不幸にして我對滿國策の眞意を諒解せず、滿洲國の國是たる五族協和の精神に悖り、誤れる優越感に支配されて他民族を蔑視し、之が爲に日滿兩國民の融和の上に尠からざる害毒を流して居るものがあることである斯るものに對しては諸官並諸下の部下に於て充分訓戒指導の策を講ずることが必要なるは云ふまでもないが、若し諸官の努力に拘らず改悛の見込なきものあらば諸官は彼等に對し何等假借するところなく斷乎たる措置を執られたし、假令之が爲に邦人の進出を一時阻害することとなるも已むを得ずと信ずる、之の點は本使の特に重要視するところなるが故に着任以來機會ある毎に述べたるに拘らず此處に重ねて一言する次第である

三、御承知の如く帝國政府は昨年八月閣議に於ける治外法權撤廢及び附屬地行政權の調整乃至委讓に關する方針を決定して之を中外に宣明したのであるが、日滿兩國機關の熱誠なる努力の結果之が諸準備も着々として進捗し、其の一部分は早くも本年度に於て實施するの域に達してゐる

これは滿洲國の發達と日滿關係の精神に鑑み誠に慶賀に堪えぬところなるは申すまでもないのであるが此國策遂行が在滿同胞の生活に及ぼすべき影響に鑑み諸官に於ても良くこの點につき在留民の指導啓發に留意せられ彼等をして我國策の眞意を正しく理解せしめ其遂行を支持せしむる樣特に愼重なる手段を講ぜられたい、本問題の實施期は既に目睫の間に迫つて居るが故に之が準備及實施後の對策については諸官に於ても格別の努力を拂はれんことを希望し今日よりの會議に於ても愼重に考究されんことを望む

四、時正に嚴寒の候諸官が遠路態々當地に出張せられたる勞を多とすると共に折角愼重審議充分に會議の目的を達せられんことを望む、尚諸官が歸任の上は諸官の部下就中分館員及び警察官の如く僻遠の地に於て寒氣と戰ひ不便を凌いで職務に精勵しつゝあるものに對して本使の深き同情と謝意を傳へらるゝと共に以上述べた本使の意のあるところを篤と傳達せられ上下渾然一體となつて良く官の威信を保持し職責の遂行に過誤なきを期せられたい

全滿領事會議 出席館長

全滿領事館會議出席各館長左の如し

一、間島 川村博（總領事）
二、奉天 宇佐美珍彦（同）
三、ハルビン 佐藤庄四郎（同）
四、吉林 森岡正平（同）
五、チチハル 内田五郎（領事）
六、ハイラル 米内山庸夫（同）
七、安東 桝谷秀夫（同）
八、鄭家屯 瀧山靖次郎（同）
九、新京 中野高一（總領事代理）
十、錦州 後藤鎌郎（領事）
十一、綏芬河 興津良郎（領事代理）
十二、承德 杉浦興（同）
十三、滿洲里 後藤安嗣（領事代理）
十四、營口 三村哲雄（同）
十五、赤峰 山安千博（事務代理）

社線國線の特定運賃 別種特定運賃設定 二月一日から實施

【大連國通】來る二月一日より實施される社線國線の貨物運賃に依り濱北線、齊北方面より大連に至る

運賃

が現行運賃より割高となり、又チチハル大連間運賃と、ハルビン大連間運賃の差額が、改正運賃によつて高率となる不合理を呈し、且新運賃の實施により齊北、濱北兩線の分れが古城に下るを配車運轉の都合上北安鎭に直し、尙チチハル營口間、チチハル河北間に於る運賃の不合理を是正せんとする四觀點より滿鐵では昨年十月設定の特定運賃を一月卅一日限り廢止し二月一日より九月卅日迄穀物、種類（花物、種を除く）大豆粕の別種特定運賃を設定實施する旨廿九日發表した新特定運賃に依ればチチハル發四平街經由大連向けに於て一圓五十錢を割引し改正運賃二十七圓十九錢に對し廿五圓六十九錢の特定運賃を設定なほ發送地に於ける逆送を止防するため特定運賃は

大興

までチチハル運賃を適用するもので、これが實施により滿鐵は三十七萬六千圓の減收を見込んでゐる

特定運賃要綱

【奉天國通】齊北線地帶發送南滿向輸出特産特定運賃要綱左の如し

一、品目 穀物、種類（花物種を除く）大豆粕
二、扱別 一車扱
三、拂別 着驛拂又は發驛拂
四、期間 康德三年二月一日より同年九月三十日迄
五、備考
1、チチハル以南驛發のものにしてチチハル發本特定運賃率より高率となるものはチチハル發の本特定運賃率を適用
2、特定運賃率による貨物の運送經路は鐵路當局に於てこれを定む
六、發着驛及び運賃率（一噸に附き）
△チチハル發 大連埠頭着 二五、六九
　安東着 二五、〇二
△北安發 大連埠頭着 二八、二一
　安東着 二七、五四
（以下略す）

尙新舊運賃を比較すれば（チチハル發大連向運賃）左の如し

舊特定運賃 二六、七一
改正運賃（奥地開發特定運賃を適用）二七、一九
新特定運賃 二五、六九
舊運賃に對する遞減額 一、〇二
改正運賃に對する遞減額 一、五〇

治法撤廢後の 滿鐵諸施設を如何にすべきか

滿鐵幹部と關東軍との懇談會

滿鐵幹部と關東軍との時局懇談會は二十九日午後三時半から軍司令官々邸で南司令官を始め西尾、板垣正副參謀長並に各關係幕僚、滿鐵側大村副總裁、山崎、河本、佐藤、郡山各理事出席の

下に

開催され約二時間にわたつて滿鐵に關する諸問題を協議した後午後六時から官邸における司令官の招宴に臨んだ、仄聞するに協議の内容は

一、治外法權撤廢に伴ふ滿鐵地方施設の有償讓渡に關する問題
二、地方施設移讓後における滿鐵の地方經營費用の負擔問題
三、鐵道一元化に伴ふ人事問題その他

につい隔意なき意見の交換を遂げた模樣であるが、附屬地行政權移讓後における滿鐵の地方經營費負擔問題は行政權移讓によつて滿鐵の行政費が減少し負擔が輕減されるがその限度において滿鐵が滿洲國政府の地方行政費に何等かの形式において寄與するといふ問題で附屬地行政權の移讓によつて行政費が約二千萬圓激減する滿洲國政府の財政問題としてこれが成行は

重視

されてゐる、なほ鐵道一元化に伴ふ人事問題は滿鐵から鐵路總局に轉任せる滿鐵社員を今後如何にすべきかに重點が置かれるものとみられてゐる

日本脫退後の 軍縮會議 果して收拾困難

＝オブザーヴァの報告＝

【東京國通】日本脫退した後の英、米、佛、伊四國軍縮會議の運命はロンドンにある我オブザーヴァーよりの報告を綜合するに豫測された如く極めて

希望

薄く去る十六日行はれた四ケ國第一委員會で可決された、建艦通告案の細目協定すら最惡の場合に於て不成立に終り、軍縮會議は日本の根本方針を認めざる限り名實共に實現の餘地なき事實を世界に公開するに至るべしとの觀測が下さるゝに至つた、即ちこの意味から二十九日再開される第一委員會の經緯が最も注目される處であり、廿九日の委員會に於て佛國側はドイツの會議參加を飽迄も拒否しこれが容れられざる限り會議より離脫し軍縮會議に最後の終末を與へんとする意思が明白であり英國が佛國側の主張を緩和しつゝ如何にして歐洲海軍國の協定を達成するか見物であるが歐洲の一般政情は依然として軍縮を實現せしめるが如き雰圍氣には稍遠く且日本を逸し去つた後の米國の關心は遠く歐洲會議を離れて大建艦計畫と大空軍創設に向つて

邁進

しつゝある事情より見れば結局に於て世界海軍は再び無條約狀態に陷る物と見られてゐる

冀察委員會 海關收入接收決定

【天津廿九日發國通】冀察、冀東兩政權の財政的分野に就ては大體三對一の比率を以て分配する事に

決定

せることは既報の如くであるが右財源は海關稅收を除外して考慮されたものであつたが更に昨日海關收入中月額百萬元を冀察政務委員會に於て接收する事に正式決定を見た天津海關收入は約四千三百五十萬元にして借款擔保として約三千百萬元が計上されてゐるから之を差引いた全額、即ち年額一千二百萬元は冀察側に於て全部を獲得するものとなつたものである、尙又從來北平軍事分會、舊東北軍、靑島第三艦隊等の軍費四千百萬元餘は計上する必要がなくなり剩餘財政を示すに至つた、尤も宋哲元軍、萬福麟軍に對する軍費は冀察委員會に於て支辨する事になる譯であるが河北省最大の關稅收入を全部冀察政權に於て接收するに至つた事は經濟自主へ一大進展を示したもので最後の難關であつた關稅收入の決定により財政問題は全面的に解決したものである、然し右の經濟的獨立性を南京政府が全面的に

承認

したことに對しては何等かの政治上の疑念を殘して居り一部の觀測によれば北支と日本との特惠的關稅率設定を未然に防がんとする策謀の現れであるとしてある

東亞勸業を解散 滿鐵が出資

【京城國通】愈々今夏創立される鮮滿拓殖會社と東亞勸業公司の合併は既定の方針で渡滿中の田中外事課長が親會社たる滿鐵及東亞勸業當事者間で合併具體案を折衝中であるが合併形式は東亞勸業が滿鐵の傍系會社たる關係と從來缺損續きなりし關係から一旦解散の手續きを取り滿鐵に於て清算の上、滿鐵が鮮滿拓殖へ出資する形式を執ることに内定、滿鐵は約二百五十萬圓程度を出資することになつたと傳へられる

人事往來

▲東條憲兵司令官 二十九日午前七時發本溪湖へ
▲山岡少佐（關東軍參謀）同ハルビンへ
▲宮下福三郎氏（林業）同午後ハルビンへ
▲アウダーロウキチ氏（滿露兩文日刊新聞社員）同
▲貝沼洋二氏（拓務省官吏）同濱江へ
▲十川正夫氏（農林技師）同内地へ
▲岡田要造氏（海軍々人）同
▲味生勝氏（ビクター會社員）同
▲永原岩雄氏（鶴立崗炭坑理事）二十九日午後來京都ホテル

航空往來

▲內海源一郎氏（ハルビン）二十九日午前新義州へ
▲一井米二氏（關東軍自動車隊）同奉天から

偶語

內地では總選擧、政民兩派がこゝ關ケ原とばかり政戰愈酣ならんとして來たが、今回は立候補者の出足が馬鹿に早いやうだ▼その原因は公報締切期限が大體立候補の締切期限に比し、五、六日早いのと、選擧公營による演說會場の借入が申込順によることゝなつたことなどいろ〳〵あらうが▼運動期間が永ければ永いだけ各候補者に取つては選擧費用がかさみ、肅正選擧にそはぬ矛盾が生れて來る▼肅正といへば選擧肅正中央聯盟とやらが鳴物入りで騒ぎたてゝゐるが、肝腎の選擧民は一向に冷淡で、却つて萎縮の傾向さへありといふ▼これでは折角の明朗選擧も憂鬱選擧に代り、いざ蓋を開けて見ると意外な結果に終らぬとも限らぬ▼そこで取締本元の內務省では大枚七萬圓を投じて「選擧の心得」一千五百萬冊を配布して明朗活潑を期するといふから聊か苦笑ものだ

社説

文化問題の基礎的理解
滿洲文化人の重要なる任務

一

思ふに文化に對する關心が今日ほど昂められたことは、曾つてのマルキシズム興隆時代にも見なかつたほどの、最近の顯著な事象であらう。そして、文化の問題についての現代日本に於ける論議や諸般の運動が、日本民族の世界的進出といふ最近に於ける事實をその基底に有し、その世界文化との聯繫或ひは遲れたる東洋諸民族文化の領導といふ方向を目指してゐることにわれらは注意すべきであらう最近、東京に於いて文藝懇話會が成立し、更にその後、日本ペン倶樂部、獨立作家クラブ等が組織された。文藝家協會學藝自由同盟、唯物論研究會、翻譯家協會、劇作家協會、國際文化振興會、國際學友會、國際映畫協會等々は何れもまた相似する性質の文化團體である。それらに相通ずる本來的な使命は、言ふまでもなく文化の發展といふ創造的な活動につくすことでなければならぬ。もとより時の情勢によつては文化の擁護と稱し得るところの、表面消極的に見える活動が主なる仕事となることもあらう。荒野に文化の芽を種蒔く、全くの創建的難事業たる場合もあらう。いまはこの問題を、われらの滿洲に於ける現實の基礎の上に立つて考へてみたいと思ふ

二

こゝで滿洲が現に有する文化の諸斷面を一々描寫する必要はない。滿洲社會の今日の狀態がその上層構築たる宗教風習、藝術、科學、教育等々を決定してゐる。これまでの日本の文化史學者は專ら滿洲文化の發展を次のやうな圖式を用ひて解説して來たものである。

一、教育への貢獻
　1、中國人に對する教育施設
　2、滿蒙に於ける教育の普及發達
二、科學的貢獻
　A、農業界への貢獻
　B、工・鑛業への貢獻
三、保健・衞生への貢獻
四、社會施設等々

これは周到な事實の表相の記述ではある。だが、そのやうにして助成發達せしめられた文化が、この滿洲に住む全日滿大衆の生活とどのやうな關聯を持つてゐるかをわれらは問題とせねばならぬ。

三

世界を通じての現代文化の特質をわれわれは次の如く規定することが出來よう…

一、新しい文化が建設されつゝある。大衆の文化的水準は向上しつゝある。文化科學は異常な進展を示しつゝある。
二、支配階級は文化統制政策を積極的に遂行せしめつゝある。
三、科學、藝術、技術、教育ジャーナリズムの分野に在るインテリゲンチアの進歩的任務はより重要となつてゐる。

右のことを理解せずして滿洲文化の今後を論ずることは不可能である

複雜化せんとする滿洲國々際關係（十三）
過去は躍進、好轉の連鎖

創建以來日なほ淺い滿洲國は斯樣にして輝かしい獨往自主的外交のステップを踏んで躍進滿洲國の國際的地位を彌が上にも急角度に高揚し全面的に内治外交の整調と國威を世界に顯示してゐるのである

獨逸の滿洲産大豆の輸入狀態は毎年百萬噸乃至は百廿萬噸内外であるが一九三四年ヒットラー政權が爲替資金の缺乏から滿洲大豆の輸入を制限し一噸當り百五十萬マルクといふ高率た税金を賦課する事となつて以來大豆の輸入は俄然凋落して九十萬噸内外に激減する現象を呈するに至つたのである

併し滿洲産大豆の輸入制限は國家的には國内産業に對する重壓となつたのである

×

即ち國内七百五十餘に達する製油業者百、五十餘の油脂工業者その他全國多數の家畜飼養農民大衆は原料或は飼料の缺乏によつて多大の影響を蒙る一方消費者としては油脂工業の原料不足の結果人工バタ（マルガリーネ）の生産高が三十九萬噸から三十一萬噸に轉落したので從來市價の約四分の一の値段で常食としてゐた獨逸國内の二千數百萬の勤勞大衆は忽ち食糧難といふ重大問題に襲はれる結果を馴致したのである、更にヒットラー政權の軍備擴大强化政策の遂行に伴つて益々缺乏を招來し重大な社會問題さへ各地に惹起すに至つたのである。この結果獨逸は已むなく滿洲産大豆の輸入制限を緩和しなければならない事になつたのである

獨逸經濟使節の來滿の目的が將來滿獨通商貿易を有利に誘導せんとする事にある事が充分推知される尚滿洲國と獨逸との貿易關係を一瞥してみると大要左の如くである（單位國幣千圓）

年次		金額
大同元年	輸入	六、五三一
大同二年	輸入	一〇、五七七
康德元年	輸入	一一、四八八
大同元年	輸出	四四、〇三三
大同二年	輸出	六六、六三四
康德元年	輸出	五一、三一〇

即ち滿洲國の對獨輸出超過は四千萬圓乃至は六千七百萬圓程度に達し日獨貿易とは全く相反した數字を示してゐるのである

×

滿洲國の對獨輸出貿易の主要品目は左の如くである（單位千擔）

年次	品目	數量
大同元年	大豆	一〇、四七四
同	豆粕	七、一四四
同	豆油	三三六
同	高粱	二六八
同	落花生	一二二
大同二年	大豆	一三、一〇二
同	豆粕	一二八
同	豆油	四一二
同	落花生	一二四
康德元年	大豆	八、八八七
同	豆粕	五五七
同	豆油	三三二
同	高粱	[illegible]
同	落花生	一八三

而廻減の康德二年度は暫く別個の問題として滿洲國の對獨輸出品目の王座を占めてゐるものは勿論大豆であるから獨逸が對滿一般貿易の整調を要求するとすれば差當り問題となるのは大豆である

他方に於て滿洲大豆に取つての强敵はアメリカの大豆である、アメリカに於る大豆の生産高は年々增加の傾向にあつて一九三五年度は一九三四年の約二倍の收穫を擧げその品質も相當優良なものであるとされてゐる

×

アメリカに於る大豆の國内消費高の一割五分以外は歐洲市場に大量輸出を勵行してゐる現狀にある、從つて滿洲大豆はアメリカ大豆を敵として獨逸の市場に牢固不拔の地盤を獲得しなければならないが獨逸は賠償金と外債の重壓に懊惱してその支拂資金難に直面してゐるのである、これが爲め獨逸の對滿輸出は重工業品のバーターシステム以外に決濟の方途が發見されない事になるのである

滿洲國の重工業品の輸入は累年增加の傾向にあるから獨逸としては對滿貿易上これに着眼する譯であらうが、日滿兩國の經濟ブロックに影響を與へるやうな結果に陷る事は極力避けなければならない、日滿兩國間の片務的貿易を滿獨貿易によつて調整する事も一つの方策として思量されるのである

×

獨逸の經濟使節一行は十二月二十一日（康德二年）日獨通商貿易の調整を圖るため來栖通商局長、松島通商局第一課長と日本外務省において會見し獨滿日三國間の貿易相互間に就いて重要協議を遂げるところあつたが康德三年春東京及伯林の兩都において細目交渉を繼續する段取りとなつてゐるのである

滿洲國の國際關係は日進月歩好轉の一途を辿つてゐるが佛蘭西と協力して國際聯盟の屋台骨の維持に鋭意努力してゐる英國においても近來益々滿洲國の實體に對する認識を深めて來た事が明白に看取されるのである即ち英國の元外相チエンバーレンは十二月五日（康德二年）下院に於る支那問題の討議に際會して「紛糾する、極東問題の本質的解決策は滿洲國を承認する事にある、滿洲國は既に極めて鞏固なる基礎を有し支那への還元の如きは絶望である、滿洲國を現今に至つても尚否認してゐるのは實に極東の時局不安の根源をなすものである、滿洲國の國際的地位が合法化されない限り支那本土の情勢は危機を免れないのみならず延いてその安全は期し難いのである、英國は宜しく支那が速かに日本と和解協定に到達するやう支那を激勵すべきである云々」を力説强調して英國朝野の深甚の注意を喚起したのである

×

滿洲國の合法的承認論は獨り英國のみならず各國朝野の間に抑止し難いものとなり擡頭してゐるのである即ちは國際聯盟の滿洲國不承認決議に對する反撃であり且つの決議は已に内的分解作用を起して自殺の軌道を驀進しつゝある證左である、蓋し當然すぎる程當然の事象に外ならないのである

滿洲國は美辭麗句を並べて列國の御機嫌を伺ふ必要はないのである

獨往自主的外交方針に基いて只管差し出される列國の親和友好の右手を待てばよいのである顧みれば跳躍途上にある新興滿洲國の國際的關係は今や將に娘一人に婿八人の形態にあると結論してこの筆を擱くものである

選擧肅正を説く
長官會議の後藤内相

四日首相官邸に於ける長官會議散會後午前十一時より内務省會議室に於て行はれた

今回の總選擧に對する選擧取締り棄權防止選擧肅正改正選擧法施行等の指示事項の説明に關する後藤内相の訓示は廿

丁香盧漫筆（五四）
◎腹藝派と實演派（二）

本月十九日の大每には左の記事があつた

横須賀在港海軍各部隊および聯合艦隊の青年將校はかねて國體明徴問題に關し强硬意見を有してゐたが這般の内大臣更迭を機として一層强化し五十期以下五十七期まで八級の大尉は全部結束して國體明徴の貫徹に邁進する事を申合せ代表者卅余名を擧げて米内横鎭司令長官に會見を申込み右代表は横須賀工廠總務部長山下知彦大佐立會の下に十八日午後三時から官邸で米内長官と會見各代表は重臣ブロック排撃、内大臣更迭に關する不平からさらに突き進んで内閣打倒にまで言及し强硬意見を吐露して長官の批判を乞ふところあり、米内長官は事あまりに重大なので確答を避け既往における時局問題の個々に關する意見を述べて暗默の間に長官の意のあるところを傳へた後一同はこれを諒とし六時半辭去、直に水交社ほか二ヶ所に分れ今後の對策を練り氣勢をあげた、本問題はさらに大尉級のみならず青年將校全部に擴大する形勢があるので成行きは注目され鎭守府でも對策を考究中である

×

以上の記事が果して事實とするなら此は相當重大性を持つ問題である。動機は明かに明徴問題としてあるけれども其裏面にはかなり複雜な諸原因があると思ふ、第一「兵猶如火不戢自焚」で或る場合欝積した兵氣を他に轉ずるといふ事をせぬと遂に自己爆發をやる、陸軍の方は幸ひ全國師團交代で滿洲に來り匪賊討伐に從事相當息抜きになるが海軍の方になると前述の如く息抜きなしの腹藝ばかりでは氣が腐り如何うかすると飛んでもない方向に出路を求むることになりはせぬか。それで差當りの應急策としては腹藝派と實演派との距離を成る可く接近さす事である、即ち實演派は椽の下の力持に出來るだけ義理を立てゝ花々しい實演を控目にする、例へば佐官級の支那駐在武官が腹藝派の爲めに同情罷業をやり椽の下に降りて握手するといふのも時に取りての妙案かも知れぬ。要するに「物平を得ざれば鳴る」であるから此種の不平を除去するのが肝腎であらう。

×

山本權兵衞伯が其晩年それも三四年前さる人に向つての述懷に日本で文武の不和は今日に始まらぬ明治の初年、後の伊藤公が天津條約締結の爲めに渡支するとき武人派の連中が擧つて反對しあんなものが行つて如何なるかと云ふ位であつたが遂に天津行きに決まつたとき武人派の西鄕從道さんが自分も一所に伊藤と行き度いと言出した、何しに行くのかと聞いても唯行きさへすればよいのだと云ふ、それで遂う〳〵一所に行つたが實際何にもせぬ何しに行つたのか丸で解からぬ、一方伊藤の談判は滿點の成績で上首尾で歸つて來た、後に成つて或人が從道さんに一體何しについて行つたのかと聽いたらいや何んでもない伊藤が若しか失敗したら其罪の半分は自分が負ふ積りであつたと答へたが伊藤公が此のことを傳へ聞いて非常に感激しそれ以來從道さんのことと云へば蔭になり陽になり隨分助けたものであるさうだ、日本海軍に取りても伊藤公は隱れたる恩人であると云ふのである。

×

今日の軍部に對し罪を分たぬ迄も濫りに功を爭ふな、功成つて居るなと申上げ度い。非常時の急務は何を差置いても陸海各自一丸となり陸海軍一團となり文武一體となり軍民一致の實を擧げ日本全國民が一人の如く立上がることだ、此から見れば北支工作などは二義的三義的に墮する。鐵砲の速發で相手を突きまくるのもいゝが、怎うかすると此が爲め腰が浮き脚が延びて獨りでに土俵外に飛出すことがあるぞ。

商況欄
（一月廿九日後場）

株式相場

▲大連株式（短期）

品名	寄	引
五品新	一八、六〇	一八、六〇
豆鈔新	三一、六〇	三一、六〇
錢新	一五、九〇	—
東新	一六〇、〇〇	一六〇、六〇
鐘新	五七、八〇	—
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
二鐵新	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式（短期）

品名	寄	引
滿取新	一六一、六〇	一六一、五〇
東新	九三、五〇	九三、五〇
大産	七五、八〇	七五、八〇
日品	一八、八五	—
五新	三一、四〇	—
豆新	一六〇、八〇	一六〇、八〇
鐘甲	一八、八〇	一七、九〇
電乙	一四、七〇	—
同鐵	六八、〇〇	—
滿拓	一七、八〇	—
東亞	九、八〇	—
日畜	六〇、〇〇	—
滿興	二五、五〇	—
滿毛	一七、五〇	—
二新	二四、六〇	二四、〇〇
優先	一六、七〇	—

各地市況

▲横濱生糸

	前場引	後場寄
當限	八六〇、〇〇	八六三、〇〇
先限	八六〇、〇〇	八七〇、〇〇

▲神戸豆粕

	前場	後場
一月限	四、六〇	四、五八
二月限	四、四五	四、四五
三月限	四、四五	四、四五
四月限	四、四五	四、四五
五月限	四、四五	四、四五

手形交換高（二十九日）

	枚數	金額
金票	一二三枚	一九六、四八〇
鈔票	枚	
國幣	三五五枚	四〇六、三六一

鮮魚小賣相場（百匁ニ付）（二十九日）

品名	最高	最低
活鯛	一、八六	九〇
氷鯛	四八	一〇
黒鯛	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	[illegible]	[illegible]
連子鯛	四六	二〇
アマ鯛	八四	六〇
中小鯛	[illegible]	[illegible]
マグロ	[illegible]	[illegible]
カツオ	[illegible]	[illegible]
ニベ	四八	三〇
ブリ	六〇	五六
ヒラス	七二	五八
サラ	二六	一五
サバ	二一	一五
アチ	三三	一八
カレイ	一三	一〇
ヒラメ	二五	二二
ボラ	三四	二一
コチ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]

野菜小賣相場（百匁ニ付）（二十九日）

品名	最高	最低
葱	一二	八
ワサビ	一、八〇〇	一、〇〇〇
ウド	四〇〇	二〇〇
蕪菁	一〇〇	[illegible]
牛蒡	一〇	五
人參	五	三
白菜	八	五
蓮根	一五	五
クワイ	一五	一〇
水菜	三五	二五
玉菜	一〇	六
タカ菜	八	五
杓子菜	[illegible]	[illegible]
ホー蓮草	一二	一〇
玉葱	一五	一〇
馬鈴薯	七	五
里芋	四	三
山芋	二	八
サツマ芋	一五	二
大根	八	五
赤大根	一〇	七
フキ	[illegible]	[illegible]
新生姜	[illegible]	[illegible]
ショウガ	一五	一〇
ミヨウガ	[illegible]	[illegible]
松茸内地	[illegible]	[illegible]
同朝鮮	[illegible]	[illegible]
カボチャ	三〇	一五
多瓜	七	二
スキウリ	五	三
セツリ一把	五	一〇
ミツバ同	八	五
パセリ同	七	[illegible]
西瓜	五	二
キウリ一本	[illegible]	[illegible]
カキ一個	[illegible]	[illegible]
小ナスビ十個	[illegible]	[illegible]
リンゴ上	五	[illegible]
同中	三	[illegible]
ナシ上	五	[illegible]
同中	五	[illegible]
バナナ上	[illegible]	[illegible]
葡萄	八	五
ユズ	五	一
レモン	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
ネーブル	二〇	一五
トマト	五	五
栗	三〇	二〇
密柑	一〇	九
ダイダイ	八	[illegible]
ジヤボン	[illegible]	[illegible]
バセリ	二	五
新菊	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
ブリ同	一八〇	一〇〇

蒙古に於ける 職業同盟と國防に就て

赤色職業同盟インターナショナル執行部機關誌プロフインテルンは昨年十一月號にエスナツオフなる者の書いた「蒙古の職業同盟と國防」なる投稿を掲げてゐるが、その結論に於て

「今や日本の帝國主義者は蒙古に對して凡ゆる侵略的行動に出づべき事態なるに鑑み、蒙古民衆は須らく之と闘はざる可らず、又蒙古職業同盟は日本帝國主義による戰爭上の危險及び干渉の危險が極めて重大なる事を諒解し、國民革命黨の指導下に將に來らんとする大事件に備ふるの方法を講ぜざる可らず、云々」

と云つて居るあたり注目に値する、要譯は次の通りである

□

蒙古の職業同盟は近年國民の生活及び文化向上並に其他の方面、殊に生産力の増進及び國防充實上成功を收めて居る、即ち革命前には蒙古には工業らしいものはなかつたが今日は未だ幼稚ではあるが工業らしいもの存在し、現に最近數年間にウラン・バトルに於る資本金一千六百ツフリクの工業合同、資本金五十三萬ツフリクのナライへ炭坑、資本金百二萬二千ツフリクのウラン・バトル發電所其他製材所、印刷所、洗毛所等が續々現はれ來て居り、牧畜業も非常な發展を來し、現在は牛馬總頭數三百六十一萬に上つてゐる、この外蒙の發展は偏へに國民革命政權の努力と蒙古の職業同盟の支持、並にソ聯無産階級の援助による事が非常に大きい

元來蒙古職業同盟は頗る複雜なる事態の中に於て活動をなしてゐるものであるが、右は雇傭勞働者の

大部分を糾合

してをりプロフインテルン即ち職業同盟インターナショナルに加入してゐる、而して一九三一年—一九三二年時代迄は蒙古に於る生産同盟の數十一、其會員數一萬七千名であつたが、其生産綱領が蒙古共和國特殊の事態即ち遊牧生活に適應しなかつたため同盟そのものの數は多いがその事績は毫も擧らず且つ大衆との連絡も頗る不良であつた、右に關しては一九三二年中職業インタナショナル執行委員會議の席上論議せらるる所があり其結果蒙古職業同盟の改造を見、前記十一個を減少して三個となし次で蒙古職業同盟第四回總會に於て全然生産職業同盟を廢止し統一蒙古職業同盟なるものを組織し雇傭勞働者をして全部之に加入せしめることとした、右の樣にして生れた統一職業同盟は十三の職業部を有し、各職業部は企業及國家機關內の委員會及代表委員の事務を指導する事とし、其の結果事務上の改善を見、民衆との接近も良くなつた、一九三四年中蒙古に於る雇傭勞働者は一萬人で、內同盟員は

僅か八千人

であつた、同盟側はこの不成績には大不滿で、盛んに民衆に對する活動を續け、遊牧民の移動に應じて事務員も移動し事務に從事する事とした、蒙古政府も右運動に必要な資金として三萬ツフリクを計上してゐる

蒙古勞働者從業員の勞銀は一九三四年中平均一人百五十乃至二百ツフリク、最高四百五十ツフリクである、勞働者は八時間勞働で休暇並に作業服を與へられ、各企業には安全設備を施してゐる

蒙古職業同盟第六回大會は一九三五年十月中開催されたが、同會は蒙古勤勞民衆が第五回大會以來蒙古人民革命黨の指導下に封建制度に大打撃を加へ、日傭農夫及大衆の活動が非常に盛んになつたとは言へ、反對分子も亦活動を起してゐる事を報じ、尚ソ聯邦並にソヴイエト支那の

蒙古民族に

對する革命的影響も亦大いに增進した事を告げてゐる

次に蒙古職業同盟第六回大會幹部會がプロフインテルン書記長ロゾフスキーに送つた電報の要旨を見ると

右大會プロフインテルンの決定遂行の目的を以て召集せられ、該目的の中には蒙古共和國々防措置に關し蒙古職業同盟が實行せざる可らざるもの△部を定むる事即ち現下の戰爭危險、就中日本側よりの戰爭危險に對し蒙古民衆及職業同盟の之と闘ふ可き措置を定むること及蒙古の民族的獨立を益々鞏固ならしむる途を定むる事を使命とす

とある、蒙古職業同盟は日本側の干渉計畫に對抗するの必要に迫られて居るものだが、右について蒙古職業同盟はプロフインテルンから次の樣な明瞭な指圖を受けて居る（一九三四年十一月十七日附プロフインテルン、執行局決議による）

蒙古職業同盟は蒙古勤勞大衆をしてソ聯の職業同盟並に總ての世界に於る革命的職業同盟と提携せしめて益々鞏固なる機關となり蒙古國民共和國の民族的獨立及發展を期せざる可らず

エス・ナツオフの投稿は右で終つてゐるが、同人は嘗てボリシエヴイク誌上に「蒙古に於る日本帝國主義の政策」を書いた者で、ロシアに於る蒙古通の對日觀には看過出來ぬものがある

歳末も正月もない 滿洲國軍の討匪 その後の狀況發表さる

氷天雪地に年の暮れもなければ正月もない、わが滿洲國軍は歇々として不斷の討匪行を續けてゐる、軍政部發表その後の討匪狀況左の如し

東邊道方面

一、騎兵第〇團機關銃連は十二月廿二日興京縣龍鳳寺溝（永陵街西方十一粁）に於て土匪天勝軍以下の約三十名と遭遇して之を擊退した

一、步兵第〇團長の指揮する第〇連は十二月廿三日午前六時二十分頃柳河縣第六區五個項通子（柳河東方三十粁）に於て紅軍馬歲長、曲隊長、老長生、九江、西山の合流匪約三百と交戰したが步兵第〇團の機關銃連の來援があつて交戰四時間の後敵十を殺し、小銃一、銃劍二、小銃彈八十二を鹵獲した

一、騎兵第〇團第〇連は十二月二十四日淸原東方四十粁の干溝子に於て九江好、南子以下の約四十名と交戰し敵四名を殺した

一、步兵第〇團の第〇營長は第〇連及び機關銃連を率ゐ迫擊砲を以て十二月二十五日午後一時四十分掛安縣の下韮茶園子西南方五粁の家楡川に於て紅軍九十名と交戰して二名の賊を斃した

一、騎兵第〇團機關銃連は十二月二十六日興京西方四十斜木奇北方に於て紅軍韓部長の部下を發見し一名を逮捕、一名を射殺して拳銃二を鹵獲した

一、步兵第〇團の第〇連長は十二月二十九日午後二時八晋溝（通化北方十六粁）に於て、王鳳閣衛隊と稱する約四十名と交戰敵三を斃し六、七名を傷け尚小銃一を鹵獲した

一、步兵第〇團第〇營長は一月二日部下を率ゐ午後六時頃鹿尾林北方に到着した、時群動不審の一土民を逮捕し調査したるが匪首老長青より謝老師に送る書信を持つてゐたのを見付けこれに依つて匪首老長青以下約百名は慶嶺（柳河東方二十五粁）に集合してゐる事を知り同地に進み午後九時頃これと遭遇し二時間交戰し六名の敵を殺し十餘名を傷け小銃二、六粍五彈百二、七粍九彈三十五、彈袋三を鹵獲した

一、步兵第〇團の第〇營長は第〇連を指揮し一月四日早朝駐防地を出發し前桅桿溝を經て進擊中小夾皮溝（柳河縣南三十二粁）に於て紅軍侯大隊長び小寶山以下十餘名と交戰し一名の敵を殺し三八式小銃圓筒一、ローヤル拳銃彈倉一、宣傳ビラ二十餘枚を鹵獲し人質三名を奪還した

一、步兵第〇團第〇連は一月五日横道川出發輯安縣花甸子に向ふ途中南恒路（桓仁東方二十五キロ）に於て匪首通勝軍以下の十餘名と交戰し二名の敵を斃し、また二名を捕虜とし洋砲一、拳銃一、彈袋一を鹵獲した

一、步兵第〇團深津中尉の指揮する部隊は鬧頭溝小南岔（通化縣第三區輯安北方三十キロ）に王鳳閣團の山寨あることを知り一月五日午前四時頃六道溝門通化東南三十三キロを出發し前進中鬧頭溝裡に於て王鳳閣匪部下王大隊長の率ゐる二十五六名の出擊を受けこれと交戰すること一時間にしてこれに全滅的打擊を與へ山寨を燒き午後五時駐防地に歸還した、この戰闘に於て敵の戰死は十七名、負傷多數、小銃三、槍十一、青龍刀一を鹵獲、我軍では戰死兵三名その他自衛團長一名負傷一名を出した

一、步兵第〇團卒國長は陳營長以下を從へ一月六日正午頃金川縣第二區小西岔（金川南方三十粁）に於て謝老師、鐵雷の合流匪約四十名と遭遇これと交戰、敵二名を殺し銃劍四、馬二を鹵獲し人質二名を奪還した

吉林方面

一、步兵〇〇團第〇連は二十四日午前五時馬家店甲拉子の中間地區に於て匪首西海龍の率ゐる約三十五名と遭遇一時間の交戰の後敵は戰死二、負傷三、を出し套筒式銃彈約五十と手榴彈二をのこして大西山岔方面に擊退した

一、步兵第〇〇團第〇連は王家店を拂曉攻撃するため十

二月二十九日午前二時出發したが午前十一時四十分頃色略河口哈河東北約十二粁附近に於て愛民、西海龍、東洋の合流匪約八十と交戰し敵七名を殺し、五名を傷け、小銃二、小銃彈十七、馬一、牛一を鹵獲し人質二名を奪還した

東部國境方面

一、十二月十八日より二十日に亘り奔樓頭、楊本林子寨葱河、二道溝一帶を掃蕩した靖安軍騎兵團竹本部隊の〇排は大綏芬河左岸山腹に於て山寨二を覆滅した

一、東寧縣黑栄營南方地區を討伐中であつた靖安軍騎兵團は一月一日朝五道河子南方地區に於て共匪の山寨を急襲してこれを覆滅したが敵の遺棄死體四、補虜十五その外小銃二を鹵獲した覆滅山寨十五

一、靖安騎兵團竹本部隊は一月五日五道河子上流に於て共匪安國長の山寨はを攻擊した

敦化方面

匪賊は二の死體を遺棄して逃走したが小銃二、食糧、被服等を鹵獲した、この戰闘に於ては我軍は負傷者一名を出した

一、十二月二十八日午前十時頃佐伯中尉の指揮する第〇教導隊、步兵第〇連長以下の〇〇名は官地西北方十七キロ黃花松附近に於て與王、李司令の合流共匪約二百と遭遇三時間の激戰の後擊退したが我軍は連長一名の負傷を出した、敵の戰死は四名負傷多數

一、一月七日官地第〇教導騎兵第〇連長の指揮する支隊は官地東南四道溝に於て匪首劉の率ゐる土匪約三十名と交戰これに潰滅的打擊を與へたが敵の戰死六、負傷者十數名であつた

濱江方面

一、步兵第〇〇團は十二月二十日巴彥北方に於て九江匪約二百名を包圍攻擊してこれに大損害を與へて潰走させた

一、十二月二十三日步兵第〇〇團主力は日軍及縣警察と協力し五常縣五道崗に於て匪首張連科、德勝合流匪約三百を攻擊し二十四日再び同所に於て六時間に亘り交戰し我軍は戰死二名、負傷六名を出したが敵に死傷多數あり、大損害を與へた

一、陶少將の指揮する討伐隊は一月四日烏吉密南大石東方に於て張奎匪五十を攻擊し四名を斃し小銃二を鹵獲した

依蘭地區

一、十二月二十一日騎兵第〇〇團は土龍山東北方十二キロに於て明山匪の一部七十名と交戰してこれを追擊中老來好、綠林好匪約三百と遭遇しこれを擊破して馬二四を鹵獲した

一、步兵第〇〇團機關銃連は十二月二十四日通化縣濃村鎭西方三十支里に於て王四海李四海匪約三十名のため鐵路總局自動車七臺（日本人運轉手二名共）拉致されたとの報に接し直に出動しこの匪賊と戰ひ二十五日濃河西北十五粁の地點でこれを捕へ自動車七臺を奪還したが賊は死體四と重傷者八を遺棄して逃走した

一、騎兵第〇〇團主力は十二月廿九日土龍山東方九十支里の地點に於て青山、九江東洋、綠林好の合流匪約二百を攻擊し、匪首青山九合の二名を斃した

間島方面

一、羅子溝駐屯部隊第〇連長の指揮する部隊は一月五日夜より石頭河子谷地に於て掃匪中六日午後四時同地に於て安國長の指揮する匪二十餘名と交戰して山寨を覆滅し敵二名を射殺し小銃一を鹵獲した

三角地帶方面

一、步兵第〇團の第〇連は十二月廿四日早朝白旗を出發し、同地方を掃蕩中午後一時半頃王家堡子（鳳城西南四十粁）に於て溫立善以下約二十餘名と交戰二時間の後敵二名を傷け人質二名を奪回し拳銃一を鹵獲した

綏寧地區

一、騎兵第〇〇團は十二月十二日軍田村部隊と協力、鏡泊湖附近討伐のため出動中十八日午前十一時鏡泊湖西方爾站に於て長好青林合匪約百二十名と交戰し五時間の激戰を繰返し我軍は二百名の戰死者と二名の負傷者を出したが敵十五名を射殺して之を四散させた

大連觀光協會 本年度事業方針決定

【大連支社發】外來客誘致側面的大連市繁榮助成機關として大連一流人士を役員にし昨秋十月孤々の聲を擧げた大連觀光協會は誕生第二年に入り愈々積極的に目的貫徹に進むべく去る二十五日午後三時より幹事會を開き會の本年度事業計畫案に就き協議を行つた近く理事會を開催し最後的事業方針を決した上直に實行運動に着手することになつた、本年度事業としては豫算二萬二千圓の內事業費として一萬五千五百圓を計上し左の如き實業を行ふ

遊覽コースの選定と施設△遊覽バスの運行遊覽馬車の運行助成△植樹運動△ハイキングコースの選定△ポスター製作△パンフレット製作△繪はがきの懸賞募集△年二回雜誌〃觀光の大連〃發行ラヂオに依る宣傳△施客接客業者のサーヴイス改善指導▲土產商、一般商店のサーヴイス改善▲土產品創作懸賞募集▲滿電バスに土產品見本陳列ケース配置▲ビーチハウスの市よりの委任經營

安奉線運賃改正交涉要望

【京城國通】京城商議賀田、田川正副會頭及び伊藤理事は廿五日の議員總會決議を齎し廿七日午後總督府並に鐵道局を訪問、安奉線貨物運賃改正交涉方を要望した

石炭の上手な選び方・焚き方

石炭にも仲々澤山な種類があつて、知らないと、とんだ火つきの悪いものや、火力の弱いものを買はされてしまひます。その選び方は炭の色が悪く、艶の底光りのあるものを選ばねばなりません、悪い炭になると石炭の比較的小さい部分をよく見ますと、石炭でない石を見出す事がありますこれはよく出來てゐない炭です又泥氣の多い炭も禁物です、普通、重い炭よりも輕るい炭の方が質はよいのです

◇…………◇

白輝色のものはよい炭です大きさも、なるべく粉の少ない中位の塊の粒の揃つたものがよい。燃す時には塊はなるべく大きいまゝ使ふ、割つて使ふに比べて、約三分の一位の節約になります大きすぎてどうしても割らねばならない時には火の側に暫く置いて、温めて後輕く金槌で打てば、容易く割れます、石炭を燃やして、必要な温度が出ましたら、後は其の上に粉炭をかぶせて蒸す様にしますと、ぐつと火持ちが違つてまいります

◇…………◇

使ひ終つた殘滓で、眞赤に燒けてゐるものは、灰の中に埋めるか、水をかけて消して置きますと、コークス代用としてお使ひになれますからして、石炭を少し氣をつけて使ふと、さうでないのとは知らぬ間に隨分大きな差を生むものです、消費量が二分の一も違つてまいりませう。

（主婦の常識）

年の今日に至つたものだ、だから假令引揚げ後も使用に堪へるかどうか頗る危ぶまれたのであるが最近引揚げに成功し調査した結果破壞箇所も唯一室に止まり二十萬圓もかけて修理すれば頗る優秀な潛水艦たる事が證明されたので茲にブ國軍に編入される事になつたのである、當時艦と運命を共にしたドイツ海軍の十五勇士の遺骸に對してドイツ政府代表參列の下にブ國政府の手に依り軍人最高の名譽ある鄭重な葬式が執行はれた

お化粧に　眉墨はつきもの　だが、毛根を傷める

近ごろ若い御婦人方はお化粧の際ことさらに眉墨をお引きになるために、長い間には

〰肝腎の〰　眉毛がすつかりとすりきれたり、或は毛根までも破損して、全然毛が無くなるといふ方も少くないやうです、で眉墨をおつけになるならば、第一に毛根に無害なものであること、尙ほ欲を申せば毛の榮養になる成分を含んで居つて欲しいと思ひます、でないと、毎日これを繰返して居る內に眉墨の成分である炭粉のある量が組織に吸收されて

〰毛根を〰　いためるといふ結果になります、ですから、成る可くなら强ひてこれを用ひることを避けて欲しいと思ひますが、若しどうしても引かねばならぬなら荒い粉を使つて下さい。一般に良質とされてゐる眉墨は先づ極く細粉末ですから、かへつて細かい爲め皮膚に吸收され易いといふことになります。この意味から云ふと、却つてコルクでも燒いてつけた方がいゝといふことになります。

△△△△△　奇緣のユー・ボート　△△△△

【ソフイア發國通】大戰敗殘國ブルガリアの小さな艦隊に今度新たに精鋭？た潛水艦が一隻編入される事となり其相應しからぬ對照に好奇心を惹いてゐるが之には奇しき緣因話を伴つて居る、同潛水艦は大戰當時黑海に活躍したドイツの有名なユー・ボート中の一隻で一九一八年七月バアルナ港附近で沈沒水雷に觸れ乘組將校三名水兵十二名と共に百尺の海底に沈沒し爾來十八

今日の話題

△馬術の達人馬垣平九郞が愛宕山の高い石段を馬のまゝで登つたといふ日は、寬永十一年の一月三十日でした。芝山內の廟へ參拜の途中德川家光がふと愛宕山を仰いで梅の花を見つけ「騎馬のまゝ折取つてこい」と命じたのでありました

△京都の街に電車の開通を見たのが明治二十八年の三十日でありまして七條から南禪寺までが最初でした。

△西曆一八六八年（慶應四年）の一月卅日にポーランドのパルシクスといふところに十萬個餘りの石が落下したといふ記錄があります

△今日誕生日に當る人には舊曆では勝海舟（文政六年）があり、外國にはアメリカの現大統領ルーズベルト（西曆一八八二年）がございます。

眼鏡を掛ける時は必ず正確なものを！　健康な眼に色眼鏡は悪い（二）

滿鐵醫院眼科　喜早圭吾

近視、遠視、亂視等は近くを見る仕事にばかり從事したために、眼の中の水晶體が、習慣性に厚くなつてしまつた場合とか、間違つた眼鏡を掛けて居たが爲に、水晶體の伸縮がそれに習慣づけられてしまつた時等に起るものでありまます。言ひ換えれば無理に近視、遠視、亂視にしてしまつたのであつて眞の近視や遠視ではありませんそれでこれらのものは特に

假性近視　假性遠視たどと名づけられて居りますが、此の様な人が眼鏡を掛けますと更に度を進ませる事に成り、遂にはひどい神經衰弱を惹き起す實に怖ろしいものなのでありますから此の様な人は必ず、專門醫の診斷を受けて正確な眼鏡を掛けなければなりません。それならば此の二種の屈折異常の區別をするにはどうするか、と申しますとそれは檢影法と言ひまして、暗室の中で眼に光を入れて眼球の度を計りその度數に應じて眼鏡を掛けてもう一度視力を計つて見る、この兩者が一致すれば

ほんとう　の眼の度といふ事になります。單に眼鏡を掛けて計るだけでは眞性の屈折異狀も假性の屈折異狀も一諸に現れますから本當の眼の度ではなく、非常に怖ろしい結果を惹き起しますかくの如く眼鏡の測定は非常に難しいものであつて、勿論素人には出來るものではありません我國では醫師以外の者即ち眼鏡屋等が眼鏡檢査をやる事は法律によつて禁止されて居ります次に老眼はどうして起るかと申しますと、人間の水晶體は四十才以上になりますと變化を起して硬くなり水晶體を厚くする事が難しくなるために起る現象でありまして近くの物を視るに不自由となります。これは誰でも免かれる事が出來ませんよく

世間には　あの人はもう六十になるが眼鏡が要らぬほんとうに大夫だなんだなどといふ話を聞きますがあれは決してさうではなく、實は近視があつたのですさういふ人は決して遠くは見えません。又世間では遠視眼と老視眼とを混同してゐる様に見受けますが、右に述べました様に此の二つのものは全く別個のものである事がお判りになつた事と思ひます。

次に第三の場合の色眼鏡を用ひるのはどんな場合かと申しますと

眼に病氣があつて、光を眼に當てゝはならない時とか有害光線だけでも除去してやらなければならない場合、又は

雪の中や　海岸の樣な極めて强力な反射光の中や諸種の强烈な光線の傍で働く人々等の爲に必要なのであります。俗に紫外光線除けの眼鏡を掛ける事によつて眼を丈夫にする事が出來る樣に廣告して居るのを見受けますけれども私は反對であれば製造業者の宣傳に外ならないと思ひます。何故なれば右の樣な人々以外の人々が色ガラスの眼鏡を掛ける事は一應有害光線を除去し得て衞生的の樣であるかの如く考へられますけれども却つて、眼を弱めるものであつてそれは丁度健康な人は胃腸を壞さない樣にお粥を食べさせたり足が疲れるだらうといつて

車に計り　乘せて足で歩くことをさせないのと同じ事ではないでせうか。以上の事で近視、遠視、亂視、並に老視の意味がお分りになつた事と思ひますが、眞性の近視、遠視、亂視がある場合は必ず正確な眼鏡を掛けなければなりません

ベルトラメリー能子女史の獨唱　後八時より　公會堂中繼

◇…………◇

獨唱會は新京組合基督教會の主催下に今夕七時より記念公會堂において開催されるが、新京放送局では同八時より女史の美聲を中繼することになつた（寫眞はベルトラメリイ能子女史）

陽春に魁けて本年初頭の國都を賑はすソプラノ歌手ベルトラメリー能子女史の

伊太利の名門詩人ベルトラメリー氏に嫁し、彼地に於て大成ソプラノ歌手として其の名聲を唱はれたが、夫君と死別の不幸に遭ふて、昭和四年歸朝、以來日本女流聲樂家最高權威の一人として活躍、昭和七年亡夫君五年祭の爲再度渡航の上滯伊三年、此間亡父君の遺稿整理の傍、ローマ、フロレンス、其他伊太利各地に、凡そ四十回のリサイタルを開催し、人氣は正に日本に於ける夫れ以上に達した。昨年五月日本樂壇の待望裡に歸朝以來東京、大阪、京都、神戸、其他各地に獨唱會を催し、本場に於て磨きをかけた咽喉の冴えと、益々圓熟を加へたる唱ひ振りに、聽衆を魅了しつゝあるは人の知るところである。今回三度目の渡歐を前にして、酷寒の滿洲を訪れ、一夕新京好樂家各位に見えんとするものである。

女史は日本に生れ東京音樂學校卒業後

ラヂオ　けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局 三十日（木曜））

◎……朝……◎
六、三〇　建國體操（滿語）
六、五〇　ラヂオ體操（東京）
七、〇〇　氣象通報（大連）
七、一五　中等滿語講座（大連）講師　秋父固太郎
七、四〇　中等日語講座（奉天）講師　田中卓爾
八、一〇　朝の音樂（大連）
八、三〇　經濟市況（東京）
九、〇〇　早晨滿奏
九、二〇　料理獻立（奉天）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　家庭講座　就學兒童の取扱ひ方　赤塚久子

◎……晝……◎
一〇、二五　家庭メモ（大連）
一〇、三五　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、四〇　ニユース（東京・引續き新京）
〇、〇一　經濟市況（大連・引續き新京）
〇、二〇　晝の演藝（レコード）
〇、四〇　建國體操（滿語）
　白天演藝　清唱　金鎖記　協和國劇社票友（滿語）
一、二〇　ニユース（滿語）
一、三〇　日本講義　日本商工業及産業之大概　奉天市總商會秘書　片山滿城（奉天）
一、五〇　下午演奏（大連）
二、〇〇　經濟市況（大連）
引續き　日用品値段（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニユース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連・引續き新京）
三、五〇　ニユース（鮮語）
四、三〇　ニユース（鮮語）
引續き　演藝（鮮語）
四、五〇　ニユース（英語）
五、〇〇　子供の時間
　子供の清元　玉兎
　淨瑠璃　大橋のり子（七歲）
　三味線　清元千歲太夫
五、二〇　コドモの新聞（東京）
五、二五　氣象通報・番組豫告

◎……夜……◎
六、〇〇　ニユース（東京）
六、二〇　今晩の番組　官廳公示
六、二五　政府公報（滿語）
六、三〇　國民の時間（哈爾濱）康德三年歲首感言　第四軍管區司令官　郭恩霖
七、〇〇　ラヂオ・ドラマ（東京）深川女房
七、四五　小唄（東京）
八、〇〇　獨唱　新京記念公會堂より中繼　ベルトラメリー能子　ピアノ伴奏　天池眞佐雄
八、三〇　時報・ニユース（東京）
引續き　ニユース・經濟市況　氣象通報・番組豫告（滿語）
八、四五
九、〇〇　舊劇　黃鶴樓　協和國劇社票友
一〇、〇〇　北滿の時間（哈爾濱）
　一、講演　國民教育に就いて　エスペーロフ
　二、詩の朗讀
　三、ニユース

心理描寫を狙つた　ラヂオ・ドラマ「深川女房」

小栗風葉原作、川口松太郎脚色

今晩はその初演！

〔後七時 東京〕

第一景　八幡前鳥料理屋
第二景　淸住町吉物の家
第三景　同　吉新の家

…配役（發聲順）…
お光…花柳章太郎
金之助…藤村秀夫
女中…柳戶はる子
爲造…小堀誠

このラヂオドラマは小栗風葉の代表小說を川口氏が脚色したもので、明治時代の心理描寫を取扱つたものとして、この作品は當時異色あるものとされてゐたもので、脚色者は花柳章太郎の放送の爲めこのドラマを劇化したもので、その初演である。

▽▼…………▲△

深川八幡前のある料亭の二階一室て、年の頃二十七八と思はれる男と、二十二三と思はれる女とが色々と積る思ひ出話を語りあつてゐる。男は金之助、相手はお光であつた。金之助とお光とは、幼い頃からの馴染であつたが、年前朝鮮、ロシヤ方面へ船出したきりお光には何の音沙汰もなかつた。お光はてつきり愛する金之助亡きものと思ひ、また一つには父を亡くしたので、吉田新造といふ金之助の知り合つた男と結婚してしまつたが、今日この昔馴染の二人ははからずも、深川八幡の境內でめぐりあつたのであつた。

×

今しもお光が新造と結婚したといふ話を聞いた金之助は、さすがに寂しかつた。しかし新造が、お互に氣心の知りあつた男であるだけに、金之助はお光のためにもこの事を喜んでやつた。お光は、お仙といふ美しい女を金之助の嫁にすゝめるのであつた。が、それにしてもお光に對する心を忘れ得ぬ金之助の心は暗かつた——そしてその後金之助はお光と新造の店である魚屋をしばしば訪れるのであつた。今日も金之助は店先に腰を下ろして、お光の歸りを待つてゐた。お光は醫者へ行つたのであるが、新造は今しも病篤く、その快復さへ望みなかつたのである。そしてお光の手厚い看護にも拘らず、新造は間もなく他界してしまつた。さて新造の葬式が濟んで、初七日にもなると親類緣者も皆引あげてしまつたので、お光もひたすら孤獨の寂しさを感じはじめてゐた。

×

初七日の日、金之助はこの主なき暗い魚屋の店を訪れた。彼はお光に結婚を求めた。併しお光は金之助のこの求めに應ずることが出來なかつた、それといふのも、世間には新造の亡き後はすぐ金之助とお光とが一緒になるだらうといふ嫌はしい噂がたつてゐたからである、お光にはこの噂を押切つて今金之助と結婚する程の力がなかつた。お光はあくまでも自分のか細い腕で、亡き夫の店を守ると誓つた。金之助もこのお光の心に同意してお仙と結婚する事になつた金之助はお仙といふ女が、何處かお光と似通つた風貌の持主である事を願つてゐたが彼は遂にお光の前で「お前の見立た娘ならせめてお前の魂くれえはこもつてゐるだらう」と、さう心から云ふ事が出來た。

△△△△△　子供の清元　大橋のり子（六才）さんの「玉兎」

【後五時新京】

大橋のり子さんは三笠町師匠の娘さんで本年七歲踊りは大人も及ばぬ巧者で長唄でも清元でも實に覺えよく、うまく歌はれます、天才少女です、三味線は清元千歲太夫さん

たへて久しき楫の音、（合）流れ／＼て行末は君が緣のもやい舟

（ニ）舟じや寒かろう　二上り「舟じや寒むからう着て行かしやんせ、わしが着換の此小袖（合）誰れに遠慮もないわいな

唄　小唄久和
三味線　小唄久和春

（イ）雪の玉水　上保露子作詞　小唄久和作曲
二上り「雪の玉水それ／＼そつと（合）軒につらゝの丈けくらべ（合）春はとぼそへ訪づれど（合）お寒小寒（合）山の小僧が（合）泣いて來たのぢやないかいな

（ロ）春風さんや
本調子春風さんや主の情で咲いたぢやないかいなぜに吹いたかゆうべの嵐

（ハ）花の雨
本調子「花の雨きせるの雨や江戶の花、これもゆかりの許しもの新渉命を揚卷と浮名をこゝに立花や

（ニ）逢ひたさは
本調子「逢ひたさはいちにの夢よさめさんせ、さめりや互によその人短い浮世ぢやないかいな

東京からの「小唄」　後七時四五分より

唄　岩井つる
三味線　岩井よし

（イ）青柳　藤澤紫水作詞　岩井町人作曲
本調子青柳の（合）たゝかば割れん（合）うす氷（合）春の朝にも（合）とけやすく（合）浮名も立ちし主さんに（合）結んでもらう（合）緣の糸縫つてやりたいはなの口

（ロ）殘る月
本調子殘る月（合）何んの氣もなく窓の竹（合）うつしてうれし（合）さゝ機嫌、宵の口說に（合）鴫の鐘

（ハ）雪の晨
二上り「雪の晨のいつゝけそう（合）待乳の鐘や鴉啼く

寫眞　上右、岩井よしさん、同左岩井つるさん、下右小唄久和春さん、同左小唄久和さん

歲末同情週間　寄附者芳名

▲三十錢宛森勝太郎、福久石藏、宇留野左一、矢野度一、池田レイ、諸岡照義、朝日內文子、岡崎フミエ、麻藤マス、仲岡スイ子、濱田きん子、小篠庚子、丹津きみ江、後藤ノブ、新樂內好子、山崎松子、長吉ハツ、南久子、竹下サダミ、井上タケヲ、伊藤艶子、渡邊節子、永井スミ子、中本シゲ、松村元尾、龜吉フジ子、新樂內勝子、森岡シヅ子、土田きぬ子、新樂內房子、奧村タマコ、無名氏、同、松原浩▲二十錢宛山崎、無名氏、池田利光、森光雄、神尾式夫、湯淺ヨウ、無名氏、藏內政枝、山口フミエ、山本ヨシエ、平塚ヤエ子、佐藤清子、坂口久子、三橋幸子、安宅務、土正廣平、石橋ハルエ、島田イヤノ、石川武雄▲二十二錢中町サキエ▲二十七錢與亞印刷局新京支店▲二十五錢山口ミツエ、▲二十錢宛仲野靜子、西宅太郎、大島保吉、小野寺芳太郎▲二十錢無名氏▲二十二錢無名氏▲二十錢無名氏、無名氏、〃、〃、藤原吉二、無名氏、〃、〃、〃、炭鑛曾社、森田勇、米盛日藏、無名氏、〃、〃、〃▲十五錢萬谷八十八

文藝

SEIRI

生活の季（戲曲）（中）

新年文藝三等入選

淀野寥

風間－寸時は苦しい生活に違ひないよ。思ひ出を消すつて事は、簡單ぢやない……然し直ぐ慣れてしまふよ。慣れてしまへばいゝんだ。

秋子－だつて考へて御覽なさい、私つて女も浮氣なものねえ、ほんとに浮氣に出來上つてゐるわ。

風間－それでも君は、僕との生活の間には、一度だつて浮氣らしい風は見せなかつたぢやないか、僕を不安がらせたり、嫉妬を起こさせたりするやうな風は見せなかつたよ。君は一つの深みに落込むと、次第にその中で夢中になつてしまふ人間だ……だから瀧田君との生活を始めればもう直ぐにでも瀧田君の中に埋もつて、僕の事なんか考へないやうになるに違ひないよ……好い事なんだ……だが僕は何うなるんだ。

秋子－私だつて、全然忘れる事なんかないと思ふわ、御覽の通りの浮氣なんですもの。

風間－浮氣には見えやしない世間では何と言ふか知れないけれど。

秋子－世間では、私のやうな女を大した浮氣つて、おつしやるのよ……だつて、私の經濟とか、瀧田の方のを埋める金とか……女一人の手では何うする事も出來はしませんわ、貴方がそれを助けて下すつたんですもの。そして又以前の夫に歸る……型通りの飾りつ氣も何にもない浮氣女ですわ……その上今日限り別れようとするのに、貴方は理解を持つて下さるんですもの、社會から迫つてくる惡口や、貧乏や、自棄自棄から救つて戴いて柔い眼で可愛がつて下さつた貴方……今日限り別れるなんて……私には自分が解りませんの、全く解りませんの。

風間－ところが、僕が別れたくないやうになつて來たら

秋子－決して無理だとは思ひませんわ。

風間－何うやら、別れたくはない氣持だ、靜かにこうして話してゐるのが怖ろしい

秋子－でも、初めつからの約束では、何うしてもさうしなければならなかつた筈だわ。

風間－人間つて、住み慣らされた家には、愛着を持つ樣に、強い事を言つてゐても自分の氣持を裏切る事は苦しいことだ。

秋子－いけませんわ、いけませんわ。

風間－君だつて、そんなに強くなれる筈はない

秋子－だつて、初めつから約束ではさうぢやなかつた筈ですわ、それぢや瀧田の生きる道がありません。

風間－何うすれば、良いんだ全體が初めつから間違ひだらけだ……僕は一生救はれない。

秋子－……

風間－逃げやう、逃げてくれ

秋子－そんな事を……いけません……

風間－何うして、そんなに強い力があるんだ、男の僕だつて、耐え切れない氣持を……無いんだそんな力は、全く無しだ。

秋子－私も、その氣になつたら、それこそ大變な事ですわ罪の上の罪ですわ。

風間－藪の中に迷ひ込んだやうなものだ……一緒に逃げて終へば型はついてしまうぢやないか。

秋子－私の強くなつてゐる今の氣持を壞さずに居て下さい御願ひですわ……折角今日まで切り拔けて來たのに最後と言ふのに……貴方だつて、瀧田が歸つて來て、私と共に喜び會ふのを見れば、その陰には自分の力が籠つて居るんだ、それで慰められよう、貴方は諦めようつて言つて下さつたぢやありませんか、貴方に對する私の感謝の氣持が、折角の事で滅茶苦茶になるぢやありませんか。

風間－男の意地つ張りな泣きごとだ……でも考へて御覽怖しいことだ、この儘で通せる筈はない、何か破滅に近いものが來るやうな豫感がする、今の氣持で、今の

秋子－御願ひです、御願ひです、どうか外の話をして下さい。

風間－未練のつきる筈はない僕はこれからの生活を、毎日毎日、自分の心を毆り、打ちながら生きて行くんだよ。

秋子－私を靜かにさせて置いて下さい、何處かへほゝり出して下さい。

風間－耐えられないことばかりだ、今更らながら……罪を犯した者は、犯した罪の上塗りをするんだ。

秋子－浮氣なんですよ。浮氣なんですよ、私をもつと惡く言つて下さい……でなきやア、貴方、出て行つて下さい、出て行つて下さい……出て行つて下さい。

（寸時）

風間－約束通り……今は僕が身を退く時だ……自分で薪に火を點けて……自分でその火を消すのが責任だらう解り切つた筋書きをだそのまゝやつてしまへば何でも無い事だ……無關心に、冷靜に。

（衣服を整へ、帽子を取り、ステッキを取つて扉の方へ進む）

風間－瀧田君は、氣の弱い男だから、僕に對する樣な仕打ちはしないで下さい、秋子さん。

秋子－待つて下さい。

風間－引き止めたつて、何れは別れねばならないのに、何うしようつてんです。

秋子－怒つてらつしやるんでしよう。

風間－怒つたつて、泣いたつて僕の勝手ぢやありませんか、今になつて、君の力を借りたところで、持つて行くわけにはいかない。

秋子－私は非道い女ですわ、恩人の貴方に對する、私のやり口は。

風間－約束を守る義務があつたんでしよう、初めつから僕はそれを脊背つてゐたんだ、冷靜に、それをやり通せばいゝんだらう。

秋子－もう寸時居て、氣分を直して下さい。

風間－まるで他人ごとのやうに、昔は馬鹿げた人達の心を笑つてゐたやうに、今は馬鹿げた自分の心を嘲笑つてゐればいゝんだ。

秋子－笑ひ合ひながら、綺麗な氣持で……そして別れて下さい。

（風間は椅子に、秋子は寢台に腰掛く）

風間－戀愛の清算人は必要ないんですか……何か堅く書き殘す必要はないんですか

秋子－二人だけで盛り上げたことなんですもの。

風間－君も時々は、ずるさうな笑ひを浮かべるだらう、祕密つて奴ア樂しみなものだ他の者にも少し位分けてやつてもいゝ位樂しいものだ、原顏しい純情なんだから。

秋子－もう貴方は、そんな自由な氣分になつて下すつたくねえ。

風間－だからもう歸つてもいゝてんですか。

秋子－まあ、非道い人。

風間－非道いのは君だよ。

秋子－もう、おせめにならないで下さい、自分だけで、充分苦しみ疲れてゐるんですから。

風間－その疲れを回復する暇も無く新しい喜びが來るんだから。

秋子－だから、嬉しければ嬉しいだけ苦しまねばなりませんわ、私だつて思ひやりはありますわ。

風間－その思ひやりが毒なんです、罪なんです。

秋子－だつて私にはせめてさうした感情を投げ出すより外に、何にも無いんですもの、無智で平凡で……だから筋書きは筋書き通りにして、それを守るのが一番身の爲めだと思ひ込んでゐるんですもの……私がもう少し才智のある、策略の出來る女でしたら、未だ未だ何か外の方法を考へ出してゐたかも知れませんわ。

風間－瀧田君にはその無智と平凡が今となつては幸福と言へるんですねえ。

秋子－そして貴方には、ずるい幸福にねえ。

風間－皮肉ですか。

秋子－私も皮肉の言へるやうに成りましたのねえ、貴方の感化ですわ。

風間－恐ろしい事を言つちやいけない。

寒い風の中にうたふ（諷刺詩）

－滿洲ペン倶樂部に寄せる－

星野哲

女郎屋文學の時代も過ぎた
喫茶店文學の時代も過ぎた
だと言つて
御時勢に乘つたショウヴィニズム文學も
御免だよ
滿洲の寒い荒野に
勤勞者の文化を建設せよ
その意味で
文化に關心するものたち
文學を愛するものたちの
眞に支那を知り滿洲を愛するものたちの
大同團結萬歲だ！

學藝消息

▲岡田七雄氏（元文敎部事務官）哈爾濱鐵路局總務處福祉科辦事員になつた

▲新井米藏氏（音樂通）同上

▲古川賢一郎氏（詩人）同局工務處改良科工務員となつた

▲島崎曙海氏（公主嶺）個人詩誌『露西亞墓地』を刊行した

▲ばい風會句會　二月一日午後七時から新京浪速町二ノ四、南氏方で

雜草俳句會詠草

－新年句會－

○起されて心忙しき雜煮かな　酉二
○凍る夜を支那正月の市立てり　轉六
○うら〳〵と初日は洋を離れけり　水馬
○鷄鳴いて初日うら〳〵に昇りけり　雅二
○饑歸り山家の雜煮よばれけり　秋魚
○廣々とこの國原や初日影
○ぜんまいも入りたる故鄕の雜煮かな　石菖
凍土に餌あさり居る雀かな

文藝座談會記

恒例の集ひ、新春の懇親

記念公會堂大食堂で

本社學藝部主催の文藝座談會は去秋明月の夜の集りから一寸休憩の形だつたが新舊正月のほとぼりもさめた去る二十六日の日曜夕刻、支那料理休業とあつて急に會場を記念公會堂大食堂に移して開會した定刻早くも新京文藝文化の要人來集、直ちに用意した大食堂に入り、卓を圍んで自己紹介から始めた、出席者芳名を記すと――

加藤金保氏、奥村義信氏、瀨沼召水氏、眞殿星麿氏、奥一氏、下島甚三氏、飯島英一氏、佐和山一郎氏、泉芳雄氏、室町哲二氏、山谷三郎氏、德永英氏、藤澤智氏、永鳥芳爵氏、本社から桃北好澄、近東綺十郎、和波黨、大内隆雄の四人合せて十八名

座談のうち主なるものを略記すると――

加藤金保氏　地方委員として特に關心を持ち新京に於ける文化・文藝の今後に對して援助したいと思ふ、國都新京を代表するやうな文化雜誌があつていいと思ふ

眞殿星麿氏　映畫の小雜誌は出來てゐる、音樂・演劇すべてを綜せるやうなものが欲しい、經營の成算は立つと思ふ

奥一氏　雜誌『高粱』を苦心經營して來たが遂に昨年末廢刊せざるを得なかつた、佐和山、山谷、室町その他の諸君を紹介し、新京には『高粱』ありとの記錄を殘したので自分の仕事は一段落となつた

大內　この際、一月十日附朝刊に發表した滿洲ペン倶樂部について一言申上げたい大連、奉天の先輩知友と相はかり、滿洲ペン倶樂部結成の基礎はすでに成つたのである、大連では中溝新一氏、奉天では今久雄氏が假事務所をそれぞれ自宅に置き通信連絡に當ることになつてゐる、私の考へとしてはロータリー倶樂部式にして隨時必要に應じ適當な場所で會費持寄りで集ることにしたい、日本ペン倶樂部は日本文化の國際的進出を中心的仕事とするものと聞く滿洲ペン倶樂部は「滿洲國が日本と中國との間に橋梁となる」その理想を文化の領域に於いて實現するための廣汎、有力な協助機關でありたい、私はこの考へをもつて自費で滿洲に於ける又中國の方のも、文藝文化に關する出版物を蒐集して居る次第である、希望者には喜んで御利用にまかせる有志諸君の參加を切望する

瀨沼召水氏　滿洲ペン倶樂部に大贊成である、私の譯した「儒林外史」は滿日で無斷で打切りとなつたが私はぜひまとめて一本にしたいと考へてゐる、文化人の集團機構化は絕對に必要である、滿洲ペン倶樂部が當面緊要な書籍の出版等にも努力されるやう希望する

その他、思ひ出話、佐和山氏『裸木』の話、ビューローの『旅行滿洲』の話、上海トオキーの話等、飯島氏酒十本の寄贈あり高談歡交、新年宴會氣分も充溢大盛會であつた、下島氏は新年文藝入選者、水島氏は最近東京から來滿した方である、二月下旬またやります――（大內記）

少女の墮胎事件 取調官の追擊急
昨夜は某々二婦人を召喚 深更まで取調べ續行

屢報＝總領事館檢事局に身柄を收容し取調べを開始した、十四歲少女の墮胎事件については二十八日關係醫師某氏（特に名を秘す）を召喚、長時間に亙つて取調べを行つたが十九日再度召喚すると共に事件の關係者と目される某々二婦人を召喚し取調室に立籠り外部との連絡を斷つて深更に亙つて取調べを行つた

江密峰附近で 貨車脫線

二十九日午後零時十五分ごろ吉林の次位驛唐房－江密峰驛を進行中の淸津發二百八十四貨物列車が突如脫線貨車七輛顚覆した、そのため同日午後六時新京驛發淸津ゆき京圖線二百一旅客列車の乘客は事故現場二百米間を徒步連絡によつて辛くも時發列車に引繼いだ、また淸津發同日午後九時五十分新京驛定時着の二百四旅客列車も三、四時間延着の見込みである

新計畫實施で 國道局會議

國道局では來月十九、二十兩日技術官會議を開催、各處長科長並に建設事務所長等會同の上、新年度實施計畫その他について協議するが、これより先き新京建設處でも三十一日および二月一日の二日間各地事務所長會議を開催し同樣協議を行ふはず

漸次理解の日滿郵便條約
小包、爲替とも利用旺ん

日滿郵便條約の實施第一日である二十六日は日曜日であつたために折角の爲替取組は出來なかつたがそれでも州內外の日本局引受で滿洲國郵便局の配達となる小包郵便物は六十八個に達した、而して其の第二日である二十七日の取扱つた電信爲替の九件及び州外發滿洲國宛の常爲替の十三口二千六十八圓は何れも新條約のでは小包が百六十個、通常爲替の振出が十七口、爲替金額二千五百二十圓、電信爲替九口一千八十圓、小爲替百二十五口一千八百七十圓である、右の內從來差出し得なかつた關東州外から滿洲國宛の小包を再掲してみると二十六日の六十八個中四十八個、二十七日の百六十個中八十七個がそれであり又從來取組得なかつ

閑院宮殿下 御容態御良好

【東京國通】閑院宮殿下には去る十四日以來小田原の御邸に御避寒の爲御滯在中數日前から急性氣管支カタルにて御高熱を拜したので御手當て申上げたが昨日は御熱も三十六度八分までに下り御氣分御良好に拜したが當分は御滯在御養生遊ばされる

高松宮妃殿下 盲腸炎を御手術

【東京國通】盲腸炎御手術の爲廿八日帝大病院靑山外科に御入院遊ばされた高松宮妃殿下には廿八日午前九時十二分手術室にならせられ佐藤侍醫頭八代侍醫、鹽田、佐藤兩博士立會の上靑山博士執刀、蟲樣突起切除の手術を受けさせられ同四十八分無事御終了になつたが、御經過極めて御順調の趣である

皇帝御日常に就て 林出行走放送
萬壽節當日新京より

來る二月五日萬壽節の佳節に際し宮內府行走林出賢次郎氏は當日午後六時三十分より約二十分間「滿洲國皇帝陛下御訪日後の御日常に就て」と題し新京放送局より全滿に講話放送することゝなつた

まづ先生に實力
文教部で“認定試驗”計畫 本年中には實現か

文教部ではさきに各中等學校教員に對し檢定試驗を行ひ、優秀者にはそれぞれ賞狀を與へることゝし昨年六月初めて試みられたが、第二回は舊臘十二月受驗者約七百名について施行され目下各試驗官の手許で採點中である、右試驗はたゞ單に學力を調査するに止まり資格その他に何等關係はないが、その目的は一般教職員の知識向上をはかるにあつて、その成績如何によつては將來日本同樣に認定試驗として合格者に對しては教員として一定の資格を與へると共に身分保證もしやうといふ方針で本年中にはぜひ實現したい意嚮である、現在小、中等學校ともに教員免許狀制度がなくためにその素質、學力なども全くまちまちであるが、これが實現の曉は教員の素質その他大いに改善されるであらう

傷病兵還る

北滿の曠野に匪賊と戰ひ不幸病魔に襲はれ匪彈に傷いた傷病兵が三十一日午後三時二十五分着列車で拉法から四名來京同夜は新京衞戍病院に一泊、二月一日午後七時三十五分着列車でハルビンから十九名來京、新京衞戍病院に從前から入院加療中の七名と合し合計三十名は一日午後十時新京驛發列車で南下故國へ凱旋する

オリムピック候補地 東京の檢査に 各委員續々來朝

【東京國通】皇紀二千六百年の第十二回國際オリムピック大會の東京招致について豫てから日本に好意を示し斡旋を續けて來たスエーデンオリムピック委員會國際陸上競技聯盟會長のエド・ストローム博士は目下世界漫遊の途次にあるが二月初旬には我國へ來朝するとの事である、嚢にオリムピック委員長バイエ・ラツール博士が三月二十日に來朝することに決定、又米國オリムピック委員ウイリアム・ガーランド氏の來朝が四月に實現される等、今やオリムピック委員會の中心をなす人々の動向が等しく我國に向けられて來た

萬壽節に 各學校拜賀式

來る五日の萬壽節に際して特別市內の各中等學校並に各初等學校では午前九時から一齊に拜賀式を擧行することになつた

旅館店友會

新京旅館店友協會では二十九日午後四時から定期總會をかね新年宴會を開催午後八時盛會裡に散會した

長春時代の方は どなたも御參加を
來る一日の長春會新京會

來る二月一日午後一時から公會堂で開催される長春會について極めて古くから長春に住んでゐたものでなくては參會する資格がないやうに解釋してゐられる向があるさうであるが、この會は決してそんなむづかしい規定など設けてあるのでなく、漠然と新京になる以前の長春に住んでゐたお互は僅かな人口であつたので殆ど顏見知りであつたと云つてもいゝくらひであつたが、新京となつてからは俄かに人口が膨脹し舊長春人が逢ふやうなことは稀になつたので、何かの機會を設けて昔話でもしやうといふのが大體の趣旨なので大正何年以前に居たものでなくては參會する資格が無いなどとそんな窮屈な會合でなく、打とけて舊長春時代に居つた人が集まつて半日を樂むといふのであるから有志の方は奮つて參會ありたいと當番幹事は云つてゐる、尤も準備の都合があるから三十日に申込みだけはして欲しいとのことである

延びるはく 滿洲の航空路
琿春飛行場設置で
新京から琿春へは大利益

滿洲航空會社では新に琿春に飛行場を設置し愈よ二月一日より開設の運びとなつたがそのため從來新京、龍井村方面より琿春に到るには鐵道で圖們より北鮮慶源を通り再び滿洲國領內に入るの經路をとつて來たので日滿稅關を各二回受け甚しく不便を感じてゐたものが通關も琿春のみとなつた、琿春は軍事上經濟上重要なる地で今回の飛行場開設により國都新京又は間島の主要都市延吉、龍井村とも僅かの時間で往來し、羅南、淸津の如きは三十分も要せざるに至つた、尙新京、羅南間定期航空日、旅客運賃は左の如くである

每週火、土二往復
新京－吉林、一〇圓
－延吉、三七圓
－龍井村、三七圓
－琿春、四四圓
－淸津、四九圓

初御目見得の救急自動車

警視廳が豫て注文中だつた救急自動車が竣成したので十七日午前九時から消防部に於て事務開始式を行ひ終つて市內の各消防署に配置さるゝ事となつた【寫眞は救急自動車を檢閱中の小栗警視總監】

大同學院第一部六期生 入學者決定

大同學院第一部六期生の詮衡については昨年末委員が日本各地において詮衡を行ひ去る二十一日の委員會議の結果左の如く七十名の合格者を決定した（括孤內は出身校）

▲吉田芳雄（京大）▲角張繁（東北大）▲高橋正之助（早大）▲幸塚三郎（東北大）▲淸水巖（同）▲伊藤茂雄（同）▲小林東助（同）▲馬上正（同）▲諏訪俊雄（同）▲鈴木三郎（早大專）▲吉島篤次（同）▲平山元正（東北大）▲中西橋夫（中央大）石橋武四郎（同）▲小川半三（京大）▲宮川有恭（九大）▲福山帝（京大）▲大川二郎（同）▲尾崎幸平（同）▲松本忠彥▲松尾通（日本大）▲島崎善樹（早大專）▲佐々木淸臣（明大）▲淵上智（城大）▲藤田藤一（關西大）▲森原終平（九大）▲高尾修一（臺大）▲中田弘平（京大）▲加藤正夫（同）▲鷲海農助（京大）和泗忠貞（東大）坂根次男（同）堀田享（鳥取高農）橋本一郎（岐阜高農）向後杉（臺大專）安宅慶治（三重高農）唐仁原壽男（千葉園藝）田中功（宇都宮高農）、深澤經倫（東大）（農、敎、養）岡田好喜（盛岡高農）瀧田通夫（東京高農）甲斐卓（長崎高商）木本敏男（慶應大）建部保明（橫濱專門）藤澤修（立敎大）竹內良和（小樽高商）島川政雄（東京外語）猛千稚（市立橫濱商專）髙橋正孝（東京外語）根上三雄（東京外語）藤崎信幸（慶應大）土岐龍雄（大東文化）登丸福壽（京大）城信義（東京美術）香川正信（京大）▲八木健次（東大）▲山口鼎（東大）▲吉村宗吾（京大）▲東正久（東大）▲宮原一郎（南滿工專）▲森崎干之（京大）▲佐野林兵衞（廣島高工）▲韓統吉（京大）▲楊一甲（九大）▲李裕錫（京城專）▲張際中（北大）▲孫生才（商大專）▲張德馨（早大）馬庸（東京工大）

銓衡方針は身心共に健全な滿洲國の將來を托するに足る有爲の人材を求めるため
（イ）身體檢査に合格せる者を合格者とし
口頭試問に於ける銓衡標準は
（ロ）軍事敎練の成績良好なる者
（ハ）筆記試驗及口頭試問に合格せる者
人物、學力、常識につき又成績檢定の方法には筆記口頭の兩試驗を行ひ嚴正な詮衡の結果決定せるものである

反滿抗日の匪首 戰得勝を射殺
朝陽縣署員、自衞團員の殊勳

民政部發表　錦州省西部地方に於ける有勢なる反滿抗日義勇軍系匪首藍天林、劉振東、周榮久、戰得勝等は各々數百名の部下を擁して朝陽阜新、義縣及熱河省建平縣を間斷なく橫行し日滿軍警の討伐隊は數次に亙り之が討伐を敢行したが地勢の關係上容易に所期の目的を達することを得ず一部の地方はこの爲縣政停頓の兆をさへ見られ住民の被害も亦莫大で常に戰々兢々として一時は避難者の續出を見た程であつた

×

之が爲め過般行はれた秋季治安肅淸工作には此方面に重點を置き日本軍川岸〇隊を始め滿洲國軍各縣警察隊は聯合大討伐を敢行し、惡戰苦鬪三日に亙る追擊戰の後血湧き肉躍る壯烈果敢なる包圍戰に先づ劉振東匪團約一千に潰滅的打擊を與へ次で藍天林以下各匪に大打擊を加へたのは一般の既に知るところであるが、これより後この肅正工作に於て生き殘り潰亂した敗殘匪は各地に遁走潛伏した爲縣警察隊、行政警察及び自衞團はこの檢索檢擧に文字通り寧日なき有樣で不眠不休日も猶足らざる努力を續けてゐる、その成果も實に目覺しきものあり、各匪首も若干の手兵を率ひて潛伏或は各地を轉々として檢擧網を逃れるのに汲々として居る狀態であるが、一月六日匪首戰得勝が部下十一名と共に朝陽縣第二區炮手溝方面より移動して撤牛溝に蟠居中なるを探知した西五家子自衞團は直ちに大廟子警察署に報告し、警察署に於ては直ちに西五家子自衞團十名、西大學子保自衞團副團長以下十名警察官八名の討伐隊を編成、右巡官指揮の下に急遽出動し該地に急進したが先づ西五家子范自衞團長の一隊が該匪を發見し直ちに攻擊を開始した敵は戰法巧妙で戰はずして敗走の氣配を示し「斷情山」に後退し有力なる地形に據つた後俄かに猛射を加へたる爲め范自衞團は一時苦戰に陷つたのであた、この時石巡官以下叢目衞團も來着し勇氣百倍協力し奮然として突擊を敢行し白兵戰は開始され、この突擊に西五家子自衞團員王信民は壯烈なる名譽の戰死を遂げた味方一名を失つた我方は再度の猛襲を加へ遂に匪首戰得勝を射殺し、次で副頭目占山を射殺更に突擊して匪賊二名を逮捕したが時既に午後五時を過ぎ夕暮にまぎれし殘餘は遁走したので討伐隊は一時引あげ殘匪の情報蒐集に努めつゝ一夜を過し翌七日午前九時殘匪數名は上石片子に潛伏中なりとの報を得て勇躍現地に出動し匪賊の潛伏中を包圍したるに匪賊は死者狂ひとなり抵抗したが討伐隊は勇敢に突擊を敢行し一名を逮捕し輕機關銃（十一年式一挺）小銃、拳銃二挺、彈藥若干を鹵獲したがこの突擊に自衞團員一名負傷した

×

斯くて石巡官を始め自衞團員の努力によつて縣下を續行住民に多大の被害と脅威を與へて居た匪首戰得勝は遂に射殺せられ附近住民に多大の安全感を與へた、敵は少數なりと雖も死者狂ひの兇惡匪を僅少なる討伐隊を以て決死數次の突擊を敢行し潰滅的打擊を與へた事は其の功績誠に大なりと云ふべきであらう

例年にない今年の寒さ
昨日の最低氣溫廿九度三

二十七日の吹雪がやむと急に氣溫が降下し二十八日は零下二十七度、二十九日の最低は零下二十九度三で本年の最低一月五日の零下廿九度八には及ばないがこの本格的の酷寒に到るところ寒氣の話で持ち切つてゐる、觀測所の話によると『本年は例年に見ない酷寒續きで十一月は例年に比べて三度低く十二月は八度低かつた、一月は上旬に於て七度五分中旬三度三分いづれも低い、觀側所の記錄に殘つてゐる最も寒氣の嚴しかつた昭和六年一月十日の零下三十五度七に比較すればまだまだ遠く及ばない、然し一般的に見て平年より餘程寒氣が嚴しいがこの寒氣は當分續くだらう』と言つてゐる

防護團會議

新京防護團會議は二十九日午後一時から地方事務所々長室で開催、關東軍山瀨中佐、憲兵隊本部久米副官、高木防空協會主事、武田聯合防護團長稻葉幹事、各正副分團長新京特別市、新京署等關係者出席來る二月二日大同廣場に於て行はれる防空氣球演習に關する打合せを行ひ二月の演習豫定となつてゐる防火演習は二月二日に防空氣球演習があるので演習を取り止め防火につき一般に徹底するやう種々の方法により周知せしむること等を決定四時過ぎ散會した

天然痘の續發から 每土曜日種痘

最近新京附屬地內外に天然痘發生に鑑み滿鐵保健所では每週土曜日午後一時から三時まで一般に種痘を行ふことゝなつた、尙客年以來發生患者數は附屬地內で十一月二名、十二月三名、一月三名、合計八名うち死亡者が十二月に一名一月になつてから一名、附屬地外發生患者は十二月二名、一月一名合計三名死亡者なし

北支視察から歸つた新京特別市長の韓雲階氏、巧みな日本語で北支問題を縱橫にまくし立てた後、さて人物論に及ぶと膝を落して「いやどうも北支にもこれといつた大人物はゐないよあれで西鄕隆盛見たいな人がゐたらナ……」

▽……△

同じ市公署の植田總務處長は熱心な信仰家で、いつも珠數を離さない、そこで滿人の來客などゝ對談中「諾々…」と頭を下げゝ時珠數を兩手に合掌する格好はどう見ても相手を佛樣扱ひだとの評判

探偵小説 殺人技師 (紫上映 上編)
森下雨村
茅場紫水畫

九

青い自動車(四)

彼は搖り起さうかと思つて、女の肩に手を差しのべた。が、なぜかしらぞつとするやうな不安を感じてためらつた。

「君、どうかしたのかね?」

その時、不意に耳の傍で聲がした。

場合が場合だけに、思はずぎよつとして振返ると、いつの間に來たのか、洋服を着た一人の男が、自分の背後に立つてゐた。

顔の蒼白い、鼻が鷲のくちばしのやうに曲つた、一見何んとも名状しがたい陰氣な顔をした三十前後の男だ。

それが黒いソフトの下から、白い鑛石のやうな無氣味な眼を光らせて、運轉手の顔をにらむやうに見つめたまゝ

「どうしたといふのだ、こんなところで?」

と、低いぼそぼそした聲で訊いた。

「お客樣の様子が、何んだか變なんです——。」

「變だと——。」

男はさういつて、おろつと座席の方を見ると、

「腹痛でも起してるんぢやないかな、どれ、どいてみたまへ。」

その聲が、まるで命令でもするやうにひゞいた。

運轉手が扉の側を離れると、彼は半身を自動車の中に乘入れて、女の手にちよつとさはつたと思ふと、すぐ、

「死んでるぢやないか。——」

と吐き出すやうにいつた。

「ナ、何ですつて?」

「死んでるんだよ。——もう、つめたくなつてるんだ。」

彼は、さういひながら、女の身體を抱き起した。背後から見てゐた運轉手は、その途端、思はずうわーッと叫んで飛び退いた。

女の胸から腹へかけて、一面の血潮だ!

見ると、丁度右乳のあたりに、西洋風の短刀が、ぐさつと突き刺つて、その柄元から、まだ凝結りきらぬ血潮が、ぷすぷすと音を立てんばかりに噴き出してゐる。

淡い車内の灯に照らされた女の横顔が、凄いやうに蒼白い。

「これや事だ——。」

女の身體を元の位置に寝かしながら、車の内部を仔細に見廻してゐた男が呟くやうにいつた。

が、やがて自動車から身體を出すと、彼は傍にぶるぶる顫へてゐる運轉手に向いて

「君、すぐ交番へ行つて、警官を呼んで來たまへ。」

と、命令するやうな口調でいつた。

「交番はどつちにあるでせう」

運轉手がまごまご四邊を見廻しながらきいた。

「どつちにあるか、そこらできいてみたまへ!」

「ぢや、後をお頼みしますよ」

「よろしい。後は僕が引受ける——」

運轉手は廣い通りを眞直ぐに駈け出した。

二町も行くと、通りかかつた學生風の男が、向ふの十字路を左へ折れて一町も行けば、交番があると教へてくれた。

呼吸を切つて交番に駈けこんだ運轉手が、半信半疑の面持をしながら、それでも小走りに駈け出して來る若い警官をつれて、引返してくるまでには、もの五分とはかゝらなかつた。にも、拘はらず彼が戻つて來た時には、あの奇怪な男は、どこへ行つたか影も形も見えなかつた。

「おや、どこへ行つたかしら」

運轉手が四邊をきよろきよろ見廻しながらいふと、

「誰だね?」と警官がきいた。